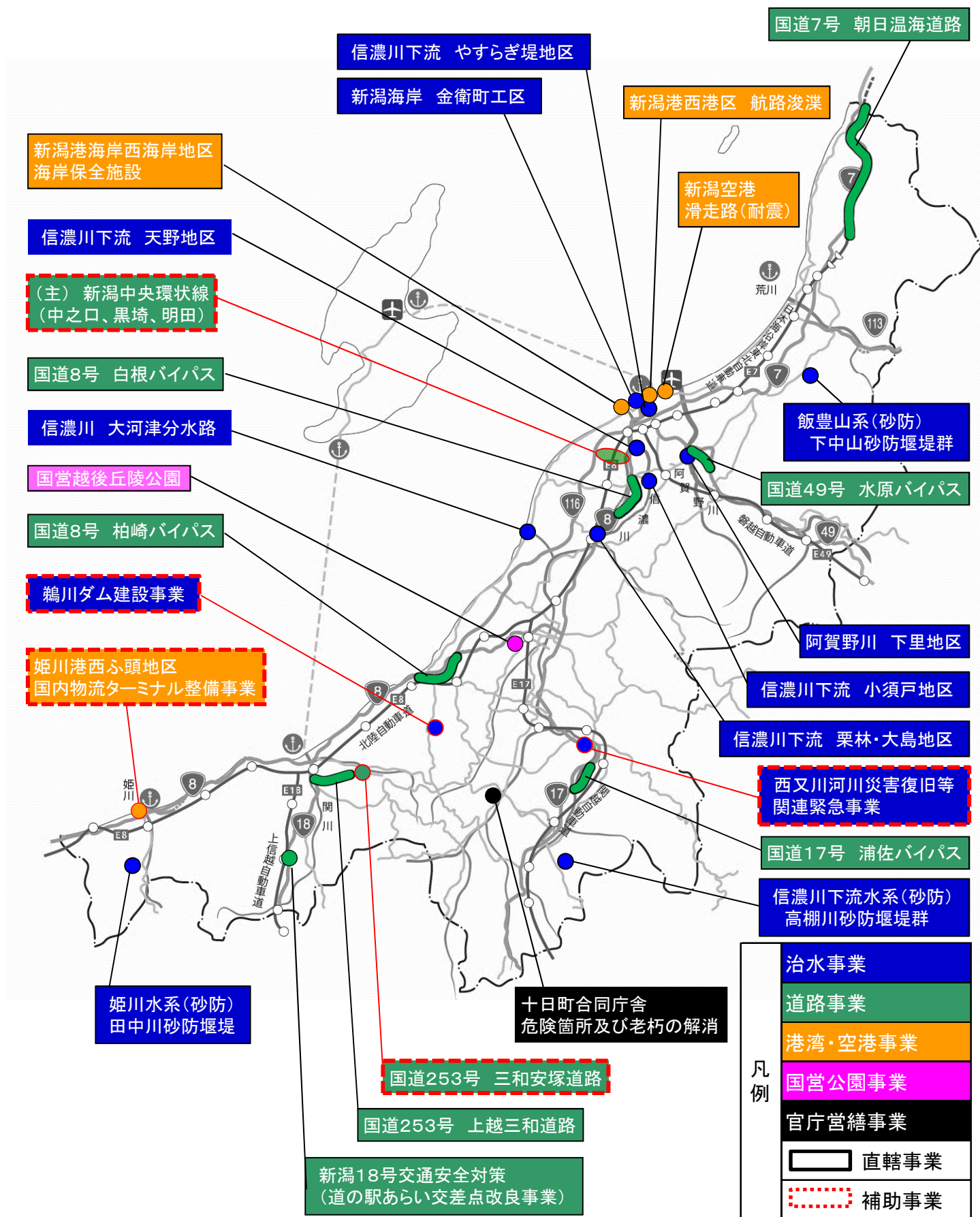


北陸地方整備局

平成30年度予算 主要事業

[参考資料]

## 新潟県内の主要事業



# 姫川水系直轄砂防事業（田中川砂防堰堤）の着手

新潟県糸魚川市

H30事業費 133百万円

## 事業の概要

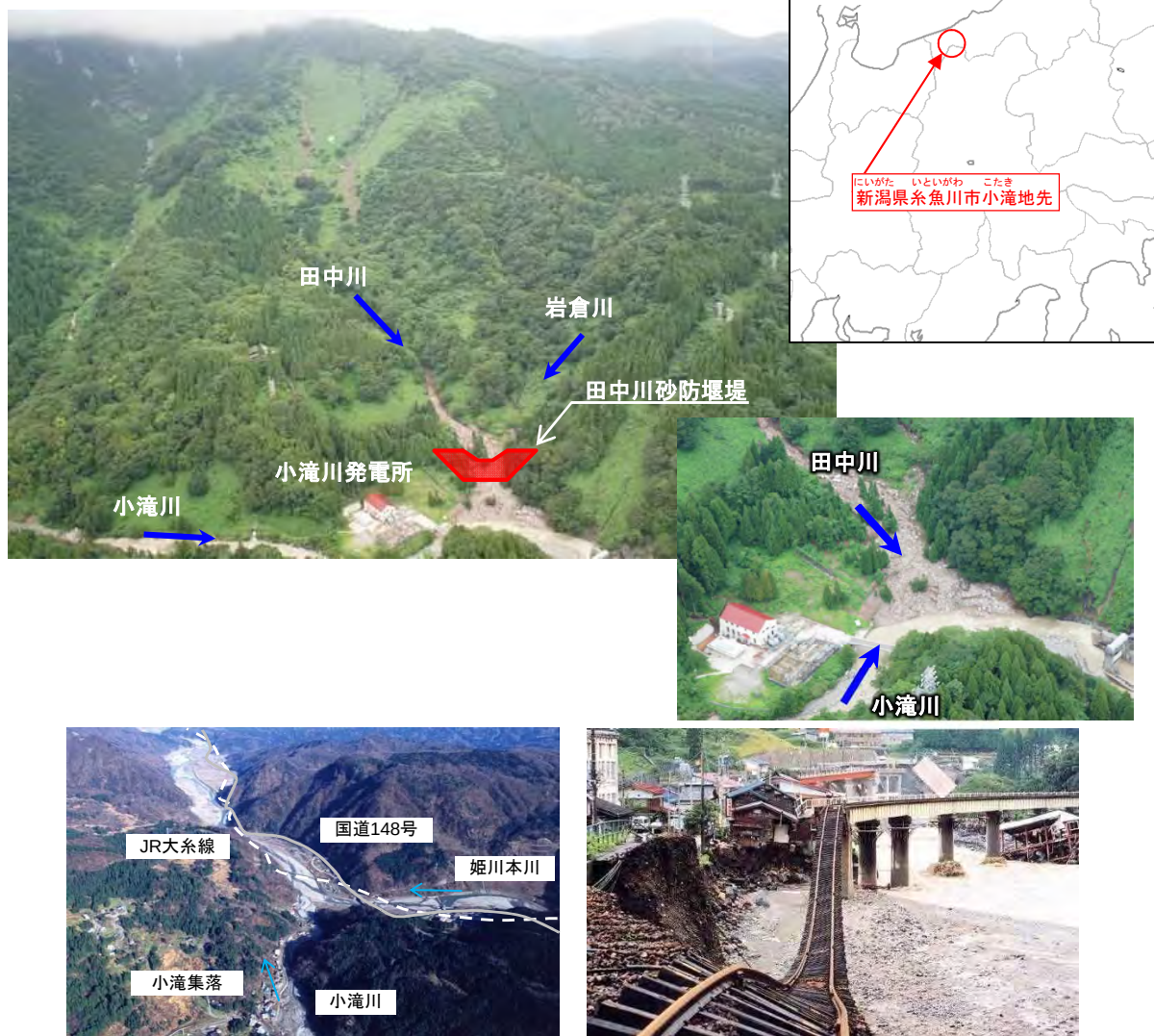
姫川流域は、荒廃が著しく土砂生産が活発であり、平成7年7月には土砂流出により甚大な被害が発生しています。姫川支川小滝川（田中川）では平成28年8月に豪雨により土石流が発生し、下流施設への被害が発生した他、溪流内に不安定土砂が堆積し、今後も土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあることから砂防堰堤工の整備を行います。

## 整備効果

砂防堰堤工の整備により、姫川水系の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の糸魚川市小滝地区を土砂災害から守ります。

## 平成30年度の事業内容

小滝地区において、砂防堰堤工に着手します。



下流の状況

平成7年7月 姫川災害  
(流出したJR大糸線)



にいがた  
**新潟 18号交通安全対策**  
**(道の駅あらい交差点改良事業) の新規事業化**

にいがた みょうこう  
**新潟県妙高市**

H30事業費 42百万円

### 事業の概要

当該箇所は、道の駅「あらい」にアクセスする交差点であり、右左折交通の多い交差点となっています。線形が良好であり、沿道乗入れがないことから、上下線ともに走行速度が高い状況にあります。また、「道の駅」が設置されている国道を挟んだ向かい側に施設の拡張計画があり、交差点や施設出入り部の右左折交通の増加、国道横断車両の増加が予想されることから、これらが関連する事故の増加が懸念されています。

本事業は、道の駅あらい交差点及び道の駅施設出入り部に付加車線等を設置することにより、安全性の向上を図るものです。

### 整備効果

- ・付加車線設置等による事故の防止

### 平成30年度の事業内容

平成30年度に新規事業化し、調査設計及び改良工事を実施します。





とうかまちごうどうちようしゃ

# 十日町合同庁舎 危険箇所及び老朽の解消

にいがた とうかまち  
新潟県十日町市

H30事業費 72百万円

## 事業の概要

既存官庁施設において、最低限必要な施設の性能を確保するため、危険な箇所、経年劣化が著しい部位等について、緊急的な改修を実施します。

## 整備効果

来訪者等の安全の確保と行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

## 平成30年度の事業内容

平成30年度は、十日町合同庁舎の経年劣化が著しい外壁及び外部建具の改修工事を実施します。

「十日町合同庁舎の概要」

入居官署：新潟地方法務局十日町支局  
新潟地方検察庁十日町区検察庁  
関東信越国税局十日町税務署

所在地：新潟県十日町市宮田町1-18

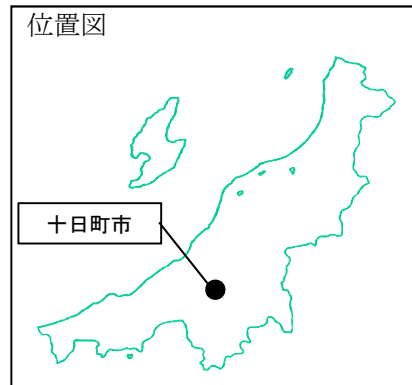
築年：1997年

構造：鉄筋コンクリート造

階数：地上4階建て

延床面積：3,664㎡

位置図



十日町合同庁舎



【位置図】

外部建具(窓)改修

外壁改修



【庁舎外観写真】

# 国道 8 号 <sup>しろね</sup> 白根バイパス事業の完成

<sup>にいがた</sup> 新潟県 <sup>にいがた</sup> 新潟市

H30事業費 880百万円

## 事業の概要

白根バイパスは、国道 8 号の<sup>にいがた</sup>新潟市南区<sup>しろね</sup>白根市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした、<sup>にいがた</sup>新潟市南区<sup>ほしか</sup>保坂から<sup>とがしら</sup>同区戸頭に至る延長約 5.9 km のバイパス整備事業です。

## 整備効果

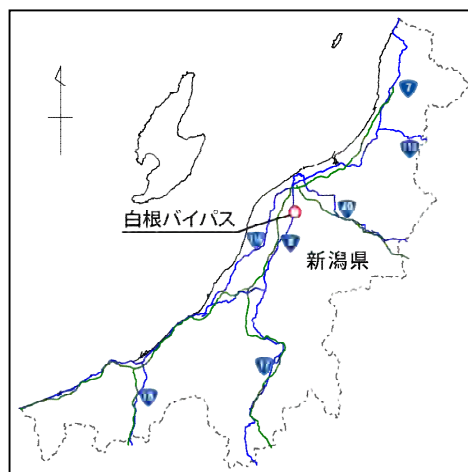
- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 騒音、振動等の沿道環境の改善
- ・ 交通事故の削減

## 平成 30 年度の事業内容

改良工事、舗装工事を推進し、今年度の全線開通を予定しています。



▲ 保坂地区の施工状況



# 国道253号 上越三和道路事業 (上越市寺～同市鶴町) の完成

にいがた じょうえつ  
新潟県上越市

H30事業費 2,560百万円

## 事業の概要

上越三和道路は、地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成し、高規格幹線道路との連携による広域的な交流の促進、冬期を含めた安全性・信頼性の確保、地域の活性化を目的とした、上越市寺から同市三和区本郷に至る延長約7.0kmの道路整備事業です。

## 整備効果

- ・ 広域的な地域の連携強化・活性化
- ・ 冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保
- ・ 第3次救急医療機関へのアクセス性向上

## 平成30年度の事業内容

改良工事、橋梁上部工事、舗装工事を推進し、上越市寺から同市鶴町間（延長3.0km）の今年度開通を予定しています。



▲ 下野田地区の施工状況



至 十日町市

上越三和道路

至 上越市街地



あ が の が わ  
**阿賀野川 河道掘削の推進**  
にいがた あ が の さがり  
**新潟県阿賀野市(下里地区)**

H30事業費  
280百万円※

※阿賀野川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

あ が の が わ  
阿賀野川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、観測史上最大の流量を記録しました。あ が の  
の し が り  
阿賀野市下里地区では水防活動を実施しており、洪水を安全に流下させるための断面が不足しているこ  
とから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るための河道掘削が必要となっています。

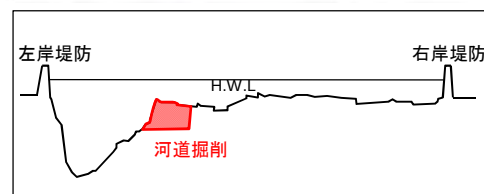
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の  
取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き河道掘削を実施します。

### 整備効果

河道掘削の実施により、あ が の が わ  
阿賀野川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

さがり  
下里地区の河道掘削を推進します。



平成23年7月新潟・福島豪雨写真



水防活動の(土嚢積み)様子



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)

しなのがわりゅう  
信濃川下流

河川防災ステーション整備の推進

にいがた にいがた あまの  
新潟県新潟市(天野地区)

H30事業費  
992百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

信濃川下流域では、平成10年8月に新潟市街地を中心とした集中豪雨による甚大な内水被害が発生し、さらに平成16年7月、平成23年7月の新潟・福島豪雨など、近年、頻繁に洪水の被害を受けています。

信濃川下流域は海岸砂丘に閉ざされたゼロメートル地帯の低平地であるとともに、人口・資産が集中し、ひとたび氾濫すると甚大な被害が予想されることから、復旧活動の迅速かつ効率的な実施が可能となるよう、信濃川右岸の天野地区において、復旧活動の拠点となる天野地区河川防災ステーションの整備を進めています。

整備効果

河川防災ステーションの整備により、信濃川下流域における地域防災力の向上を図ります。

平成30年度の事業内容

天野地区の河川防災ステーション整備を推進します。



イメージパース





しなのがわかりゅう  
**信濃川下流 河道掘削の推進**

にいがた さんじょう くりばやし おおじま  
**新潟県三条市(栗林・大島地区)**

H30事業費  
992百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH30全体事業費

**事業の概要**

しなのがわかりゅう  
信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位（HWL）を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、しなのがわ  
信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川（加茂川・下条川）の水位低減にもつながるものです。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」（※）の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き河道掘削を実施します。

**整備効果**

しなのがわかりゅう  
河道掘削の実施により、信濃川下流域の本川、支川の治水安全度を向上させます。

**平成30年度の事業内容**

くりばやし おおじま  
栗林・大島地区の河道掘削等を推進します。



信濃川下流管内図

※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)



しなのがわ かりゅう こすどばし  
**信濃川下流 小須戸橋架替の推進**  
にいがた にいがた こすど  
**新潟県新潟市(小須戸地区)**

H30事業費  
992百万円※

※信濃川下流河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

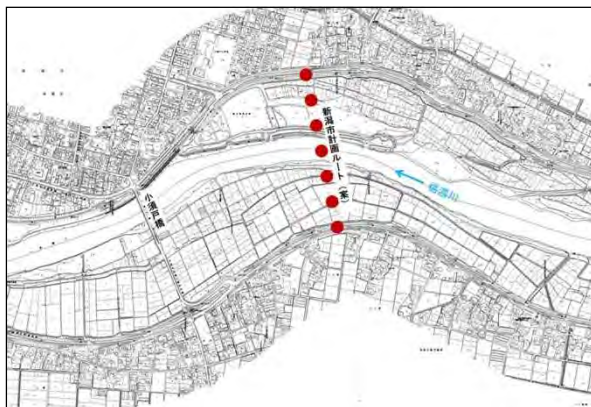
平成23年7月新潟・福島豪雨において、洪水の流れを阻害するとともに堤防高が不足している小須戸橋について、橋梁管理者である新潟市と連携した橋梁架替及び堤防の嵩上げを行い、信濃川下流域の治水安全度の向上を図ります。

### 整備効果

橋梁架替及び堤防嵩上げにより、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

小須戸橋架替に伴う用地補償等を行います。



しなのがわ  
信濃川

おおこうづぶんすいろ  
大河津分水路改修の推進  
にいがた ながおか つばめ  
新潟県長岡市、燕市

H30事業費  
7,762百万円※

※信濃川河川改修事業のH30全体事業費  
(うち大河津分水路改修のH30事業費 7,040百万円)

### 事業の概要

おおこうづぶんすいろ しなのがわ えちご  
大河津分水路は信濃川の洪水から越後平野を守るため、大正11年（1922年）に通水した延長約10kmの人工の放水路ですが、河口部は洪水を安全に流下させるための断面が不足しています。平成23年7月洪水では、分水路直上流で計画高水位を超過し、危険な状態となりました。また、分水路建設後90年以上が経過し、施設の老朽化・機能低下も顕著になっています。

おおこうづぶんすいろ しなのがわ ちくまがわ しなのがわ  
大河津分水路より上流側に位置する信濃川中流部や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。

おおこうづぶんすいろ  
大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力向上や河床の安定、老朽化施設の対策として、河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築等を実施することとしています。

### 整備効果

おおこうづぶんすいろ しなのがわ  
大河津分水路の改修により信濃川水系の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

用地取得及び山地部掘削の推進、第二床固改築の着手など事業進捗を図ります。





しなのがわ かりゅう

# 信濃川下流 水辺整備事業の推進（やすらぎ堤地区）

にいがた にいがた  
新潟県新潟市

てい  
H30事業費 162百万円※

※信濃川水系総合水系環境整備事業のH30全体事業費

## 事業の概要

信濃川水系信濃川の本川下流では、人口・資産が集中する新潟市中心市街地を貫流するため、洪水防御に加え地震時の堤防の安定性を図るため、5割勾配の緩傾斜堤（やすらぎ堤）の整備を行っています。

これまでも「やすらぎ堤」では各種イベント開催も含めて多くの市民に利用されていますが、さらなる水辺の賑わい創出を目指す取り組みが展開されており、また新潟市との連携による「かわまちづくり支援制度」の登録も受けて、ソフト・ハード両面からの取り組みが進められています。

本事業では、まちづくりと一体となった治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を行います。

## 整備効果

河川利用者の安全確保等のための整備を行い、関係機関とも連携しながら水辺の賑わい創出、地域の活性化を図ります。

## 平成30年度の事業内容

やすらぎ堤地区において、利用者の多いエリアの河川管理施設の整備（高水敷整正等）を推進します。

### 位置図



### 平面図



## やすらぎ堤利用状況



国と市が連携を図るとともに、民間事業者による商業活動等と一体となって水辺にさらなる賑わいを創出

しなのがわりゅう  
**信濃川下流水系直轄砂防事業（高棚川砂防堰堤群）の推進**  
こうだながわ さほうえんていぐん  
にいがた みなみうおぬま  
**新潟県南魚沼市** H30事業費 252百万円

### 事業の概要

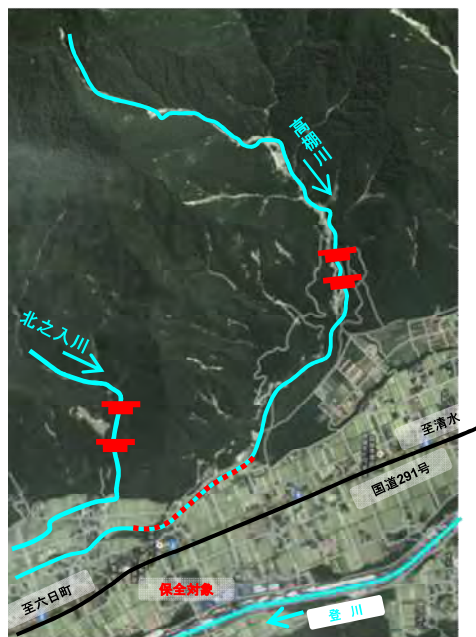
高棚川流域は、平成23年7月新潟・福島豪雨によって発生した崩壊土砂により、新たに不安定土砂が大量に発生・堆積している土石流危険渓流です。また、降雨により流出・氾濫し、下流保全対象が被災する危険性が懸念されます。現在高棚川流域には、砂防堰堤2基、床固工3基が整備されていますが、災害発生前から満砂状態であり、崩壊による土砂で異常堆砂している状況です。このため、崩壊によって発生した新たな大量の不安定土砂の流出対策のための砂防堰堤等の整備を推進していきます。

### 整備効果

砂防堰堤群の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による土砂氾濫から、下流の保全対象である南魚沼市や国道291号線を保全し安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

### 平成30年度の事業内容

長崎地区において、砂防堰堤群の整備を推進します。



下流の被災状況



既設床固の状況



既設堰堤の堆砂状況



# 飯豊山系直轄砂防事業（下中山砂防堰堤群）の推進

新潟県新発田市

H30事業費 130百万円

## 事業の概要

当該地域は、地質が脆弱で土砂災害の危険性が高い地域です。本溪流の上流域には不安定土砂が大量に存在するなど、集中豪雨等によって下流の保全対象に被害が及ぶ恐れがあります。

## 整備効果

砂防堰堤の工事を進捗させ、加治川水系の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の新発田市横山地区や国道290号線を土砂災害から守ります。

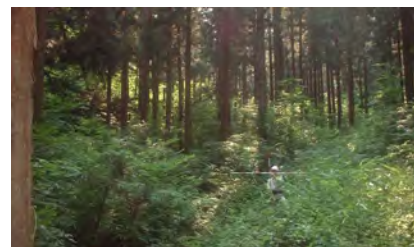
## 平成30年度の事業内容

下中山地区において、砂防堰堤の整備を推進します。

位置図



穴沢第2号砂防堰堤 施工箇所



日光沢砂防堰堤 施工箇所

# 新潟海岸 侵食・越波対策の推進（金衛町工区）

新潟県新潟市

H30事業費 613百万円※

※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業のH30全体事業費

## 事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約2.9km）は、海岸侵食の進行が著しく、災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあります。また、周辺海岸は海水浴やサーフィン等、年間を通じて利用が盛んであり、古くから地域に親しまれてきました。

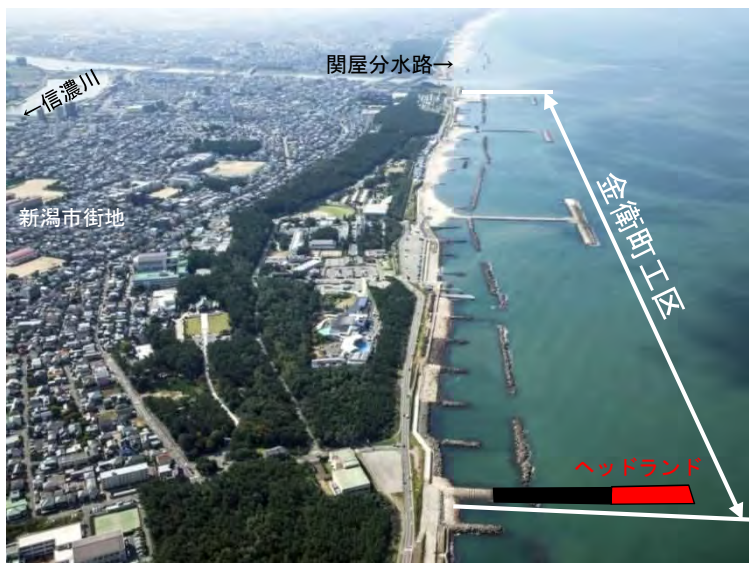
このことから、広域にわたる侵食制御と砂浜の安定を図るため、直轄海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を実施しています。

## 整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

## 平成30年度の事業内容

金衛町工区においてヘッドランドの整備を推進します。



冬期風浪状況(平成27年3月)



金衛町工区被災状況(平成18年9月)



# 国道 7 号 あさ ひ あつ み 朝日温海道路事業の推進

にいがた むらかみ  
新潟県村上市

H30事業費 6,500百万円

## 事業の概要

あさ ひ あつ み 朝日温海道路は、高規格幹線道路 にほんかいえんがんとうほく 日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とした道路であり、にいがた むらかみ かわぼた やまがた 新潟県内では、村上市川端から山形県境間の延長34.1kmで事業を推進しています。

## 整備効果

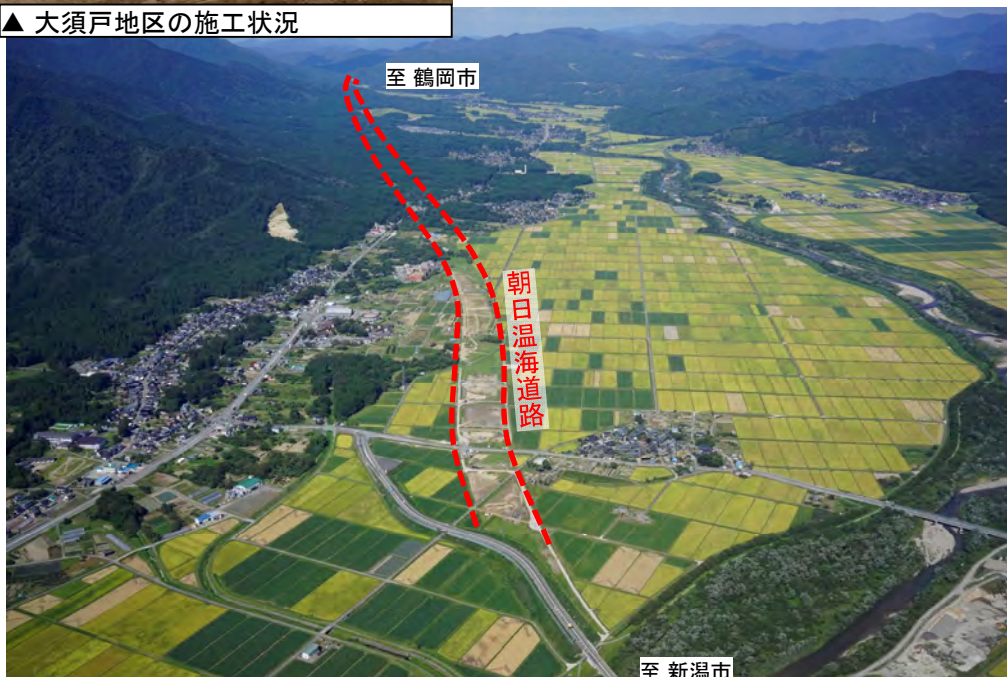
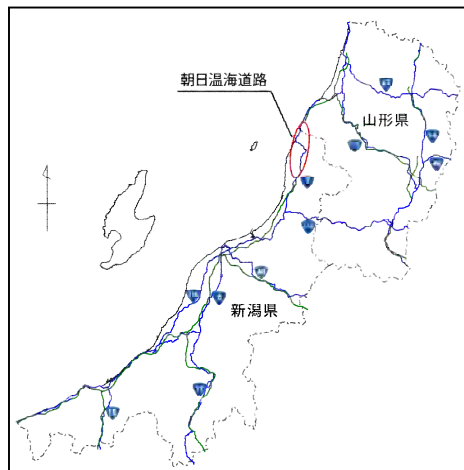
- ・災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・周遊性の向上による観光振興、地域産業の活性化

## 平成30年度の事業内容

調査設計、用地買収、改良工事、トンネル工事等を推進します。



▲ 大須戸地区の施工状況



# 国道 8 号 <sup>かしわぎ</sup> 柏崎バイパス事業の推進

<sup>にいがた</sup> <sup>かしわぎ</sup>  
新潟県柏崎市

H30事業費 2,340百万円

## 事業の概要

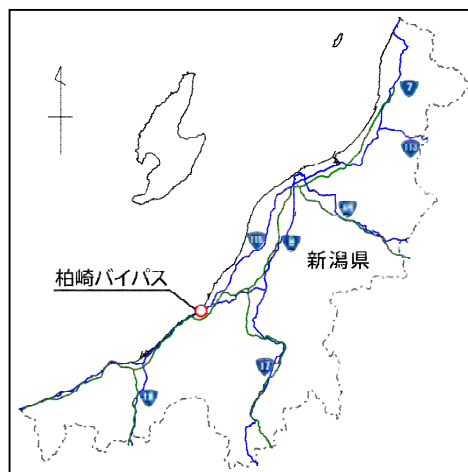
<sup>かしわぎ</sup> 柏崎バイパスは、国道 8 号の <sup>かしわぎ</sup> 柏崎市街地における交通渋滞の緩和と都市内交通の円滑化を目的とした、<sup>かしわぎ</sup> 柏崎市大字長崎から同市大字 <sup>ながさき</sup> 鯨波に至る延長約 11.0 km のバイパス整備事業です。

## 整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成

## 平成 30 年度の事業内容

調査設計、改良工事、トンネル工事等を推進します。





# 国道17号 浦佐バイパス事業の推進

新潟県南魚沼市、魚沼市 H30事業費 1,000百万円

## 事業の概要

浦佐バイパスは、国道17号の南魚沼市から魚沼市間における冬期交通障害区間の解消を目的とした、南魚沼市市野江甲から魚沼市虫野に至る延長約6.6kmのバイパス整備事業です。

## 整備効果

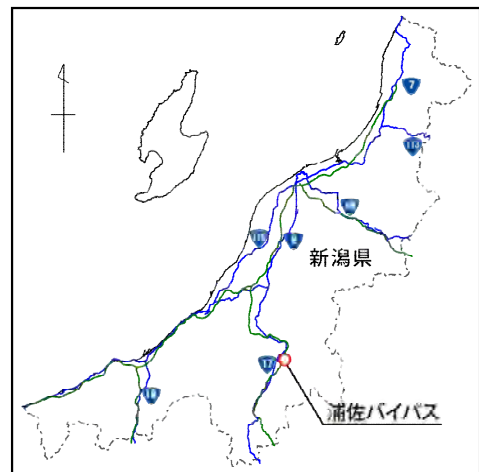
- ・ 冬期除雪障害の解消
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 第3次救急医療機関へのアクセス性向上

## 平成30年度の事業内容

調査設計、改良工事、橋梁上部工事等を推進します。  
また、虫野地区においてトンネル工事に着手します。



▲ 虫野地区の施工状況



# 国道49号 水原バイパス事業の推進

新潟県阿賀野市

H30事業費 2,000百万円

## 事業の概要

水原バイパスは、国道49号の阿賀野市街地における交通渋滞の緩和および道路交通の安全・円滑化を目的とした、阿賀野市寺社から同市下黒瀬に至る延長約8.1kmのバイパス整備事業です。

## 整備効果

- ・ 交通渋滞の緩和および交通事故の削減
- ・ 災害に強い道路ネットワークの形成
- ・ 地域産業・観光の活性化

## 平成30年度の事業内容

用地買収、改良工事、橋梁上下部工事を推進し、  
2021年度（平成33年度）の全線開通を目指します。



▲（仮称）小里川2号橋の施工状況





にいがた にしこう  
**新潟港 西港区**  
**航路泊地浚渫事業の推進**

にいがた にいがた  
**新潟県新潟市**

H30事業費 2,500百万円

**事業の概要**

新潟港西港区は、離島航路や長距離フェリーが発着するなど、人流・物流の拠点として重要な役割を担っています。

船舶の安定運航を確保するため、航路泊地の浚渫事業を推進します。

**整備効果**

船舶の安定運航が確保されます。

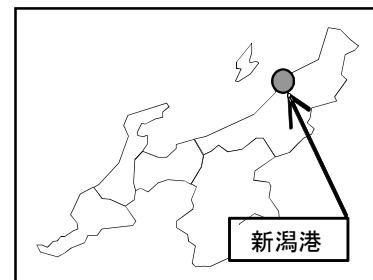
**平成30年度の事業内容**

航路泊地の整備を推進します。

新潟港 西港区



**【位置図】**



にいがた にしかいがん  
**新潟港海岸 西海岸地区**  
**直轄海岸保全施設整備事業の推進**

にいがた にいがた  
**新潟県新潟市**

H30事業費 1,176百万円

### 事業の概要

新潟港海岸西海岸地区では、背後地域の土地や資産を防護するため、離岸堤(潜堤)、突堤、護岸(養浜)を組み合わせた面的防護工法により、侵食対策を推進します。

### 整備効果

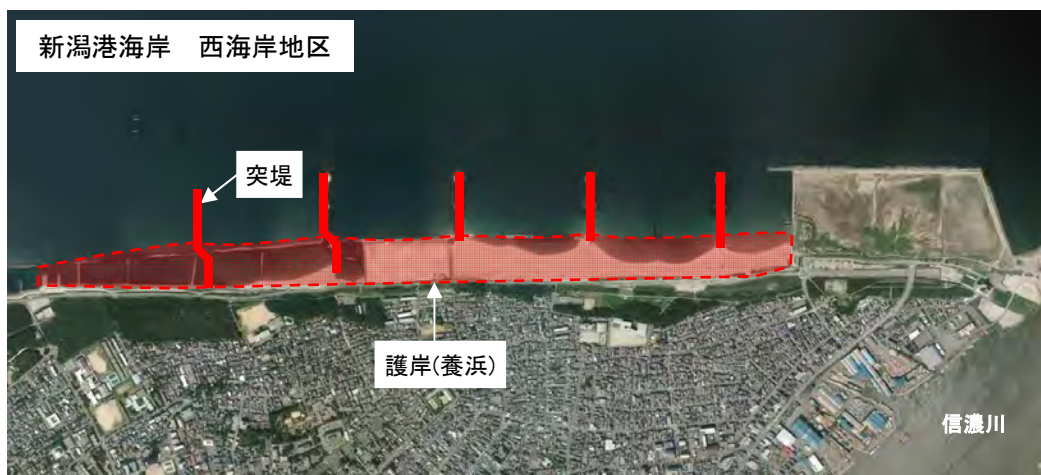
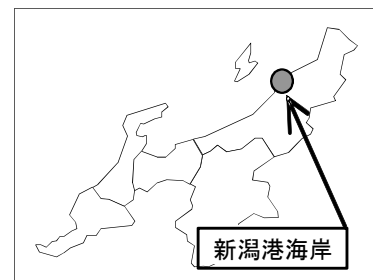
背後地域の侵食・浸水被害に対する安全が確保されます。

### 平成30年度の事業内容

突堤、護岸(養浜)の整備を推進します。



#### 【位置図】





# 新潟空港 滑走路（耐震）事業の推進

新潟県新潟市

H30事業費 650百万円

## 事業の概要

新潟空港は、大規模地震時における航空ネットワークの維持、背後圏経済活動の継続性の確保及び緊急物資・人員等の輸送基地としての役割が求められています。滑走路については大規模地震時に地盤の液状化により大きな被害が想定されることから、滑走路の耐震化を推進しています。

## 整備効果

滑走路直下の地盤改良による耐震対策を行うことで、被害を最小限に抑制し、被災後の早期供用が可能となります。

## 平成30年度の事業内容

B滑走路直下の地盤改良による耐震対策を推進します。

### 【位置図】



えちごきゅうりょう  
国営越後丘陵公園の整備推進

にいがた ながおか  
新潟県長岡市

H30事業費 947百万円

### 事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

### 整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、平成24年4月までに「里山フィールドミュージアム」の一部（全体約280haの内、西側部分約180ha）を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成27年度は過去最高の55万2百人を記録するとともに、平成24年以降年間約50万人の入園者数を記録しています。

### 平成30年度の事業内容

里山フィールドミュージアムにおいて、園路整備等を推進します。  
また、平成30年初夏に部分開園（あそびの里）の予定です。





にし またがわ

## 西又川河川災害復旧等関連緊急事業の推進（補助）

にい がた うお ぬま  
新潟県魚沼市

H30事業費 1,014百万円

### 事業の概要

平成29年7月の梅雨前線豪雨により、魚沼市の信濃川水系西又川流域において、家屋等の浸水被害が発生しました。このため、緊急的かつ集中的に事業を実施することにより、再度災害の防止を図ることを目的として、河道掘削や築堤等を行い流下断面を確保します。

### 整備効果

河道掘削や築堤等の実施により、信濃川水系西又川流域の治水安全度の向上が図られます。

### 平成30年度の事業内容

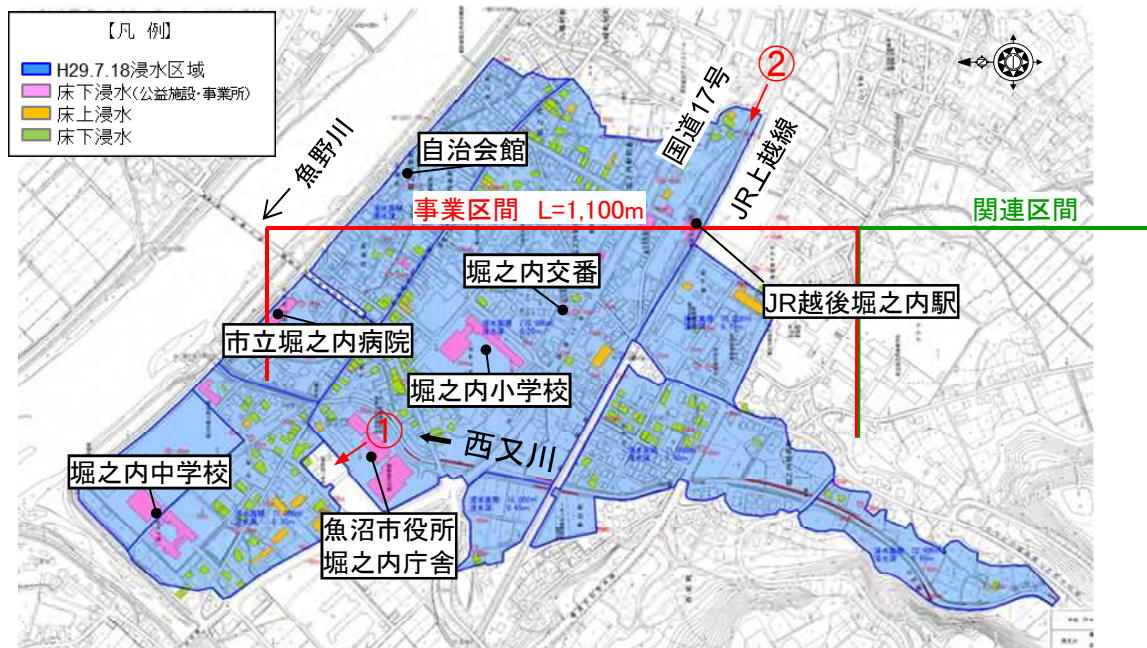
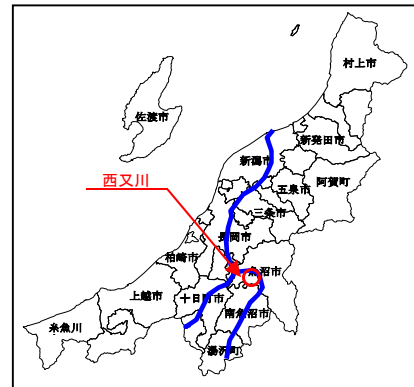
魚沼市堀之内地区において、流下能力の向上を図るため、河道掘削や築堤等の河道拡幅を推進します。



①堀之内庁舎の浸水状況



②鉄道線路の浸水状況



# うかわ 鵜川ダム建設事業の促進（補助）

にいがた かしわざき  
新潟県柏崎市

H30事業費 2,522百万円

## 事業の概要

鵜川ダム建設事業は、ダム下流域である柏崎市の洪水被害軽減を図るための「洪水調節」、及び「流水の正常な機能の維持」を目的としたダム建設事業です。

## 整備効果

ダム地点において毎秒110m<sup>3</sup>の洪水調節を行い、流域の洪水被害の軽減を図ります。  
また、流水の正常な機能の維持を図ります。

## 平成30年度の事業内容

平成30年度は、ダム本体工事等を実施します。



鵜川ダム完成予想図



航空写真（上流よりダムサイトを望む 平成29年11月撮影）



じょうえつうおぬま  
[地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路]

## 国道 253 号 三和安塚道路事業の推進

にいがた じょうえつ  
新潟県上越市

H30事業費 961百万円

### 事業の概要

さんわ やすづか じょうえつ さんわ ひろた やすづか まつざき じょうえつうおぬま  
三和安塚道路は、上越市三和区広田から同市安塚区松崎間の延長約 9.4 km において、「上越魚沼地域振興快速道路」の一部を構成するとともに、現道の狭小幅員区間、線形不良区間を迂回し、物流の効率化及び地域間交流の支援を図る事業です。

### 整備効果

- ・ 北陸新幹線駅（上越妙高駅）及び重要港湾（直江津港）へのアクセス向上
- ・ 日常活動圏中心都市（上越市）へのアクセス向上
- ・ 主要な観光地（雪だるま温泉等）へのアクセス向上
- ・ 緊急救命施設（県立中央病院）へのアクセス向上

### 平成 30 年度の事業内容

さんわ ひろた うらがわら やまもと  
平成 30 年度は、三和区広田から浦川原区山本間の延長約 4.7 km における用地買収及び道路改良工事を推進します。



# 新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）事業の推進

新潟県新潟市

H30事業費 1,642百万円

## 事業の概要

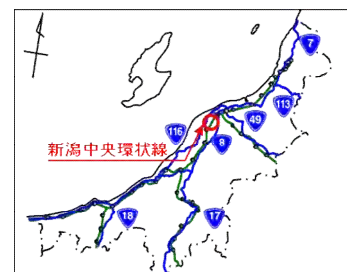
新潟中央環状線（中ノ口、黒埼、明田）は、多核連携型の新潟都市圏を環状に連絡する主要幹線道路であり、北陸自動車道黒埼スマートICの機能強化に合わせ、物流、救命ネットワークの活性化等を目的とし新潟市南区上塩俵～同市西区明田までの延長約5.8kmを整備する事業です。

## 整備効果

- ・有事の際に都心アクセス軸の代替性を確保し、復旧、復興を支える
- ・救急・救命・救助活動の30分圏域のカバー率が拡充
- ・新潟地域における「産・学・官」連携による航空機関連産業支援の取り組み「Niigata sky project」など成長産業の育成支援及び新たな物流軸の構築による経済活動の活性化
- ・佐潟、上堰潟、福島潟、鳥屋野潟などの潟資源や、各地域に点在する歴史や文化の拠点をつなぐネットワークの確立

## 平成30年度の事業内容

平成30年度は、南区上塩俵から西区明田間の延長約5.1kmにおける用地買収、道路改良工事及び橋梁工事を推進します。





ひめかわ にしふとう  
姫川港 西ふ頭地区  
国内物流ターミナル整備事業の促進

にいがた いといがわ  
新潟県糸魚川市

H30事業費 298百万円

### 事業の概要

姫川港は、背後地域における国内物流の拠点として重要な役割を担っています。船舶の大型化への対応のため、物流ターミナルの整備を促進します。

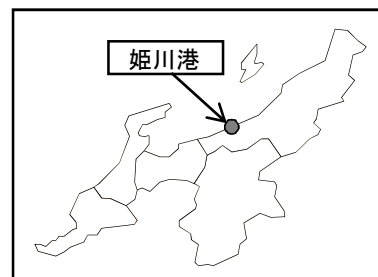
### 整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

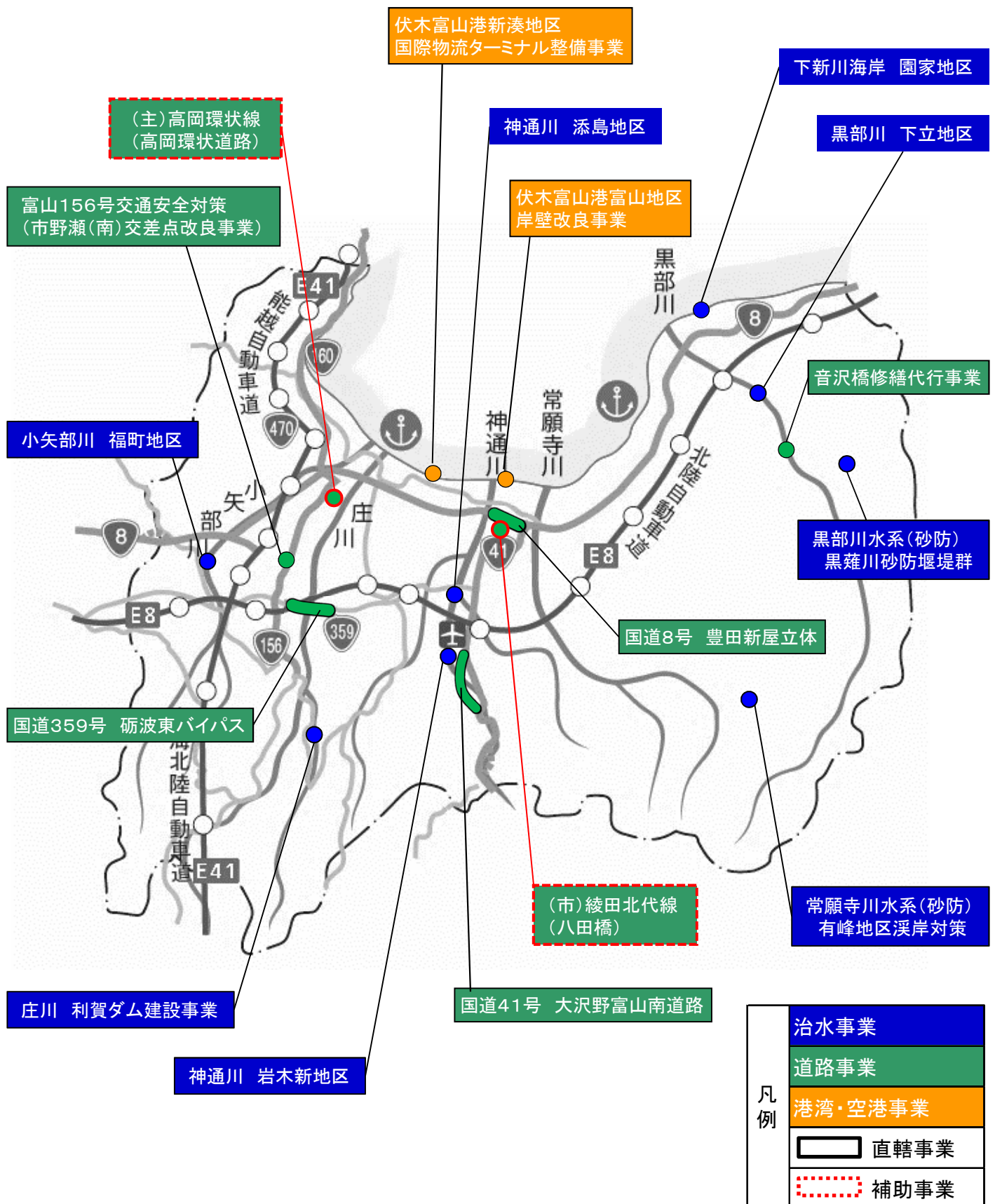
### 平成30年度の事業内容

岸壁の整備を促進します。

#### 【位置図】



# 富山県内の主要事業





おやべがわ  
小矢部川

よこえみやかわ

## 横江宮川合流点对策事業の着手

とやま おやべ ふくまち  
富山県小矢部市(福町地区)

H30事業費  
240百万円※

※小矢部川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

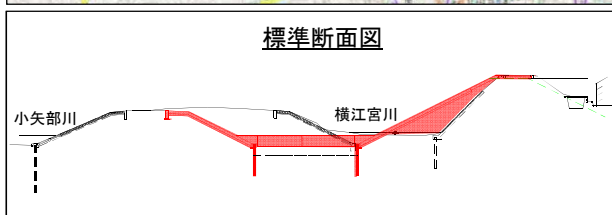
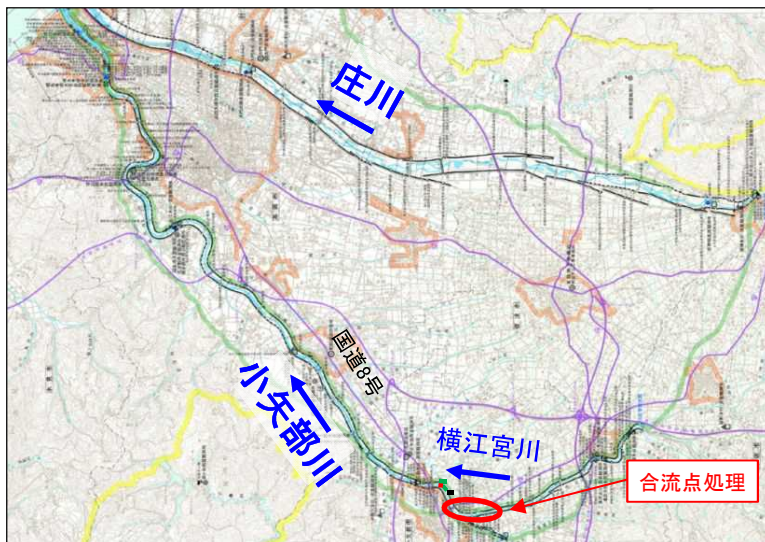
小矢部川は平野部を流れる緩流河川であり、庄川扇状地の末端を流下することから多数の支川が合流しています。近年の出水（平成20年7月集中豪雨）で浸水被害が発生している支川（横江宮川）において、富山県が行う改修事業と連携・調整を図りながら合流点对策に着手します。

### 整備効果

支川（横江宮川）の合流点処理を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

### 平成30年度の事業内容

福町地区の合流点処理に着手します。



横江宮川浸水被害状況(H20.7)



と やま  
**富山 156 号交通安全対策**  
**(市野瀬 (南) 交差点改良事業) の新規事業化**

と やま たか おか  
**富山県高岡市**

H30事業費 3百万円

**事業の概要**

当該箇所は、国道156号と市道戸出市野瀬五号線とが交わる交差点であり、右折車線がないため、右折車両の急減速・急停止に伴う後続車両の追突事故が多発しています。また、右折車両の飛び出しによる追突事故が多発しています。

本事業は、右折車線及び減速ドットラインを設置することにより、交差点付近の追突事故の防止を図るものです。

**整備効果**

- ・ 右折車線設置等による事故の防止

**平成30年度の事業内容**

平成30年度に新規事業化し、調査設計を実施します。





おとざわはし  
**音沢橋修繕代行事業の推進**  
とやま くろべ  
**富山県黒部市**

H30事業費 75百万円

### 事業の概要

地方公共団体への支援策の一つとして、平成29年度に黒部市が管理する市道音沢1号線にある「音沢橋」の直轄診断を実施しました。

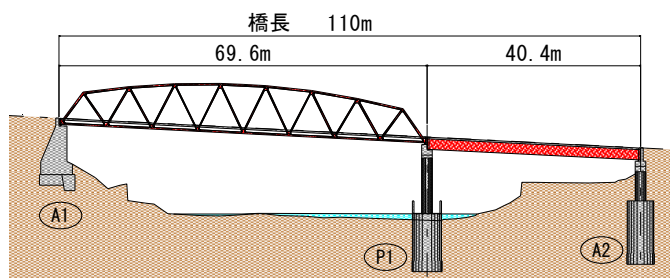
診断の結果、上部構造の鋼部材に塗膜のはがれ・色あせ・腐食、下部構造のコンクリートにひびわれ・遊離石灰、さらに橋脚基礎部に洗掘が確認され、補修には高度な専門知識等を要することから、黒部市の要請を受け北陸地方整備局が修繕代行事業により保全対策を実施します。

### 整備効果

橋梁保全対策の実施により橋梁の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。

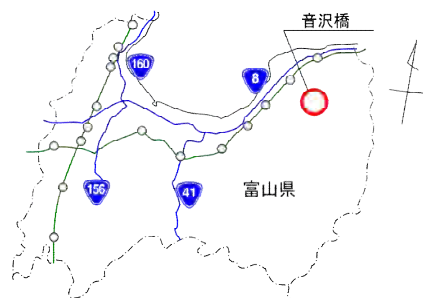
### 平成30年度の事業内容

平成30年度は、調査設計、修繕工事を実施します。

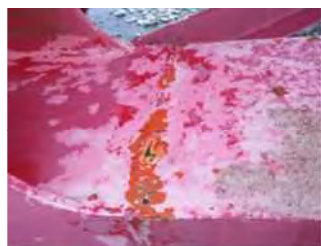


〈側面図〉

〈位置図〉



〈直轄診断を実施（H29.11.22）〉



〈トラス部 腐食状況〉



〈P1橋脚 損傷状況〉



〈P1橋脚 洗掘状況〉

くろべがわ  
**黒部川 急流河川対策の推進**  
とやま くろべ おりたて  
**富山県黒部市(下立地区)**

H30事業費  
134百万円※

※黒部川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

黒部川は、黒部市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたびはん濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

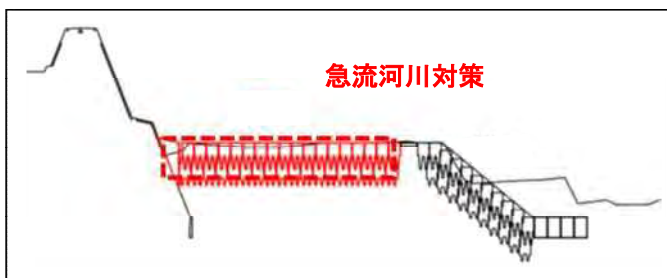
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き急流河川対策を実施します。

### 整備効果

急流河川対策の実施により、くろべがわ  
黒部川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

おりたて  
下立地区の急流河川対策が完成します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)



じんづうがわ  
**神通川 急流河川対策の推進**  
とやま とやま そえじま  
**富山県富山市(添島地区)**

H30事業費  
609百万円※

※神通川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

神通川は、富山市内を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたびはん濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

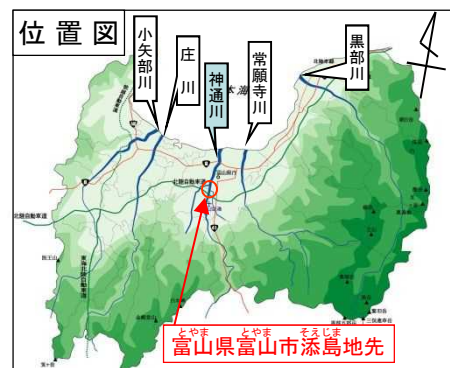
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き急流河川対策を実施します。

### 整備効果

急流河川対策の実施により、神通川の治水安全度を向上させます。

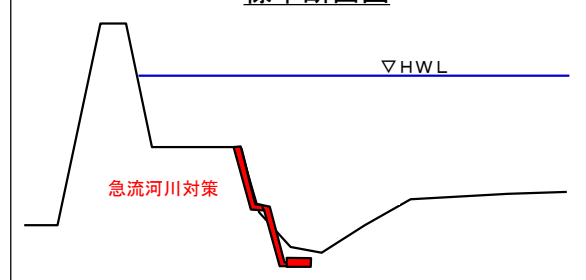
### 平成30年度の事業内容

添島地区の急流河川対策を推進します。



左岸10.2km付近を下流より望む

### 標準断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)

# 神通川 自然再生事業の推進（岩木新地区）

とやま とやま  
富山県富山市

H30事業費 56百万円※

※神通川水系総合水系環境整備事業のH30全体事業費

## 事業の概要

神通川では、河川環境の変化により瀬や淵が減少し単調な流れになるなど、かつて見られた多種多様な魚類・底生動物の生息場が失われてきています。減少が見られる魚種の中で、神通川を代表する大型魚のサクラマスは繁殖・生育の過程において上流から下流までの様々な場所を利用・依存することから、サクラマスの生育・生息に適した環境を再生することで、他の魚種も含めて良好な河川環境の形成・保全が期待できます。

本事業は、サクラマスをはじめとする神通川に生息する魚類の休息場所の整備、産卵や稚魚の生育の場となる多自然水路の造成等を行い、様々な魚種の生息・生育・繁殖のための多様な河川環境の再生を図ります。

## 整備効果

多様な河川環境を創出・保全することで、神通川本来の自然環境の再生を図ります。

## 平成30年度の事業内容

岩木新地区において、サクラマスをはじめとする神通川に生息する魚類等の幼魚の生育及び生息場の整備を推進します。

### 位置図

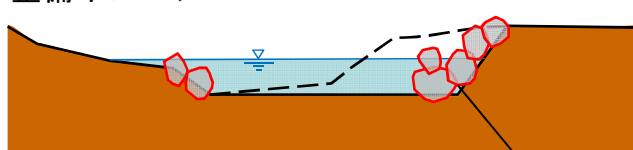


### 平面図



## 魚類の幼魚の生育・生息場の整備

### 整備イメージ



隠れ場所の創出

### 整備済み箇所



水路の整備



隠れ場所の創出



隠れ場所の状況  
(多様な幼魚)



隠れ場所の状況  
(サクラマス幼魚)

幼魚や小魚が生育する場所の整備のため、大きな石などを設置し、穏やかな流れや隠れ場所を創出します。



# とが 利賀ダム建設事業 とやま なんと 富山県南砺市

H30事業費 2,159百万円

## 事業の概要

庄川は、これまで幾度も洪水が発生し甚大な被害が発生しています。また、発電、かんがい、工業用水などの水源として広く利用されていますが、しばしば渇水の被害が発生しています。

そのため、庄川の支川である利賀川に、「洪水調節」、「流水の正常な機能の維持」、「工業用水」を目的とした多目的ダムである利賀ダムの建設を、平成5年度より進めています。

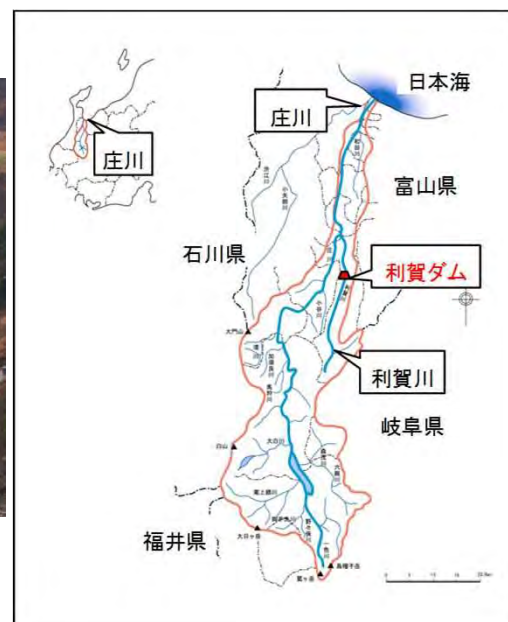
- 目的
  - ・洪水調節（庄川の洪水防御（富山県の5市））
  - ・流水の正常な機能の維持
  - ・工業用水の供給（富山県企業局：8,640m<sup>3</sup>/日（0.1m<sup>3</sup>/s））
- 諸元 堤高：112m、総貯水容量：3,110万m<sup>3</sup>
- 経緯 平成元年度 実施計画調査着手
- 平成5年度 建設事業着手
- 平成28年度 ダム検証対応方針「継続」（平成28年8月）

## 平成30年度の事業内容

転流工関連工事、工事用道路工事 等を推進します。



庄川橋梁上部工 工事状況  
(平成29年12月撮影)



じょうがんじがわ

とやま とやま なかにいかわ たてやままち  
富山県富山市、中新川郡立山町

## 事業の概要

常願寺川上流域は、脆弱な火山噴出物と、約150年前（安政5年）の大地震により発生した鳶山の崩壊土砂が、不安定な状態で堆積しています。

平成23年8月には、湯川右支溪有峰一の谷において大規模な山腹斜面崩壊が発生し、多量の土砂が湯川に流出堆積しました。現況において出水が発生した場合、河道内堆積土砂が流出し被害が発生する恐れがあるため、溪岸対策の整備を行います。

## 整備効果

下流に広がる富山平野をはじめとする常願寺川流域の土砂災害に対する安全度向上を図ります。

## 平成30年度の事業内容

有峰地区、芦峯寺地区において、溪岸対策の整備を推進します。



H23. 6撮影(崩壊前)



H23. 6攝影(崩壞後)



# 黒部川水系直轄砂防事業（黒薙川砂防堰堤群）の推進

富山県黒部市 H30事業費 201百万円

## 事業の概要

黒部川流域は、急峻な地形や脆弱な地質による崩壊の多発地帯であり、急流河川、多雨・多雪の気候条件と相まって、大量の土砂が流出しやすい条件を有しています。特に黒薙川上流には、深層崩壊の危険度が高い小流域が多数存在することや源流部は荒廃が著しく、平成7年7月の豪雨災害では上流の崩壊地から流出した土砂により沿川の発電施設や観光関連施設が被災するなど甚大な災害が発生しています。

沿川の地域及び地域経済を担う上流域の観光資源や公益施設等を土砂災害から守るために、土砂災害対策を推進します。

## 整備効果

砂防堰堤の整備により土砂流出を抑制し、黒部川流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

## 平成30年度の事業内容

宇奈月町黒部地区において、砂防堰堤群の整備を推進します。

### 黒薙砂防堰堤群



### 位置図



寸断された黒部峡谷鉄道黒薙線 (H7.7)



H7年 黒薙温泉源泉被災状況

しもにい かわ

下新川海岸

越波・浸水対策の整備推進（園家地区）

とやま しもにいかわぐん にゅうぜんまち  
富山県下新川郡入善町

そのけ

H30事業費  
1,400百万円※

※下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH30全体事業費

### 事業の概要

下新川海岸は、富山湾特有の「寄り回り波」や「冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成20年2月24日の高波被害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

このため、離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設を整備することにより、背後の住宅等を越波、浸水から守ります。

### 整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

### 平成30年度の事業内容

そのけ  
園家地区において、離岸堤の整備を推進します。



緩傾斜堤の被災状況（園家地区）（平成20年2月）



# 国道 8 号 豊田新屋立体事業の推進

富山県富山市

H30事業費 2,800百万円

## 事業の概要

豊田新屋立体は、地域高規格道路富山外郭環状道路の一部を構成し、富山市内の国道 8 号の交通渋滞の緩和、交通事故の削減、幹線道路ネットワークの強化を目的とした、富山市小西から同市粟島町に至る延長約 2.9 km の交差点立体化事業です。

## 整備効果

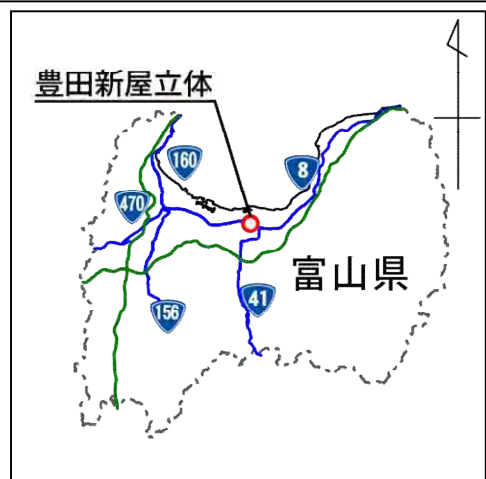
- ・ 交通渋滞の緩和
- ・ 交通事故の削減
- ・ 幹線道路ネットワークの強化

## 平成 30 年度の事業内容

調査設計、用地買収、改良工事、橋梁下部工事を推進します。



▲ 新屋地区の施工状況



# 国道41号 おおさわの 大沢野富山南道路事業の推進 とやま とやま 富山県富山市 とやま H30事業費 700百万円

## 事業の概要

おおさわの 大沢野富山南道路は、とやま 地域高規格道路富山高山連絡道路の一部を構成し、国道41号の交通渋滞の緩和、医薬品製造業等の産業を支える物流の信頼性向上を目的とした、とやま 富山市楡原からにれはら 同市栗山くりやまに至る延長約12.0kmの道路整備事業です。

## 整備効果

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通事故の削減
- ・災害に強い道路ネットワークの形成

## 平成30年度の事業内容

調査設計を推進します。また、今年度より用地買収に着手します。





# 国道359号 <sup>と なみ</sup> 砺波東バイパス事業の推進

<sup>と やま</sup> <sup>と なみ</sup> 富山県砺波市

H30事業費 1,640百万円

## 事業の概要

砺波東バイパスは、国道359号の道路幅員狭小による除雪障害を解消し、冬期間における交通の確保および交通安全の確保を目的とした、<sup>と なみ</sup> <sup>せりだに</sup> 砺波市芹谷から同市高道に至る延長約6.1kmのバイパス整備事業です。

## 整備効果

- ・災害に強い道路ネットワークの形成
- ・急カーブ区間、道路幅員狭隘区間の解消
- ・冬期間の路肩堆雪による交通障害の解消

## 平成30年度の事業内容

改良工事、橋梁上部工事を推進し、平成31年度の開通を目指します。



▲ 頼成地区の施工状況



ふしきとやま しんみなと  
**伏木富山港 新湊地区**  
**国際物流ターミナル整備事業の推進**  
とやま いみず  
**富山県射水市**

H30事業費 686百万円

### 事業の概要

伏木富山港新湊地区の国際物流ターミナルは、外貿コンテナを中心に国際物流の拠点として重要な役割を担っています。

外貿コンテナ取扱貨物量の増加や船舶の大型化に伴う滞船解消等に対応するため、岸壁の整備を推進します。

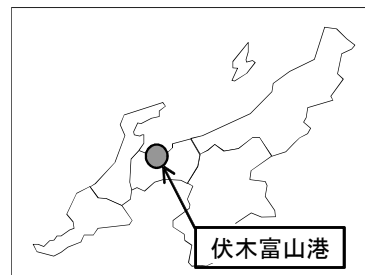
### 整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

### 平成30年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

#### 【位置図】



伏木富山港 新湊地区





ふしきとやま とやま  
**伏木富山港 富山地区**  
**岸壁改良事業の推進**  
とやま とやま  
**富山県富山市**

H30事業費 320百万円

### 事業の概要

伏木富山港富山地区の岸壁(水深10m)(2号)は、供用開始から50年近くを経過し、エプロンの沈下や前面鋼矢板の腐食など老朽化が顕著であることから、老朽化対策として岸壁の改良を行います。併せて耐震化を図ります。

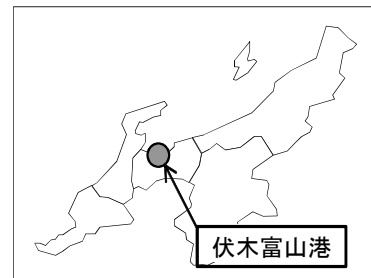
### 整備効果

施設の長寿命化・耐震性の向上が図られます。

### 平成30年度の事業内容

岸壁の改良を推進します。

#### 【位置図】



伏木富山港 富山地区



## たか おか

たか おか

と やま    たか おか

H30事業費

## 事業の概要

たかおか 音園 環

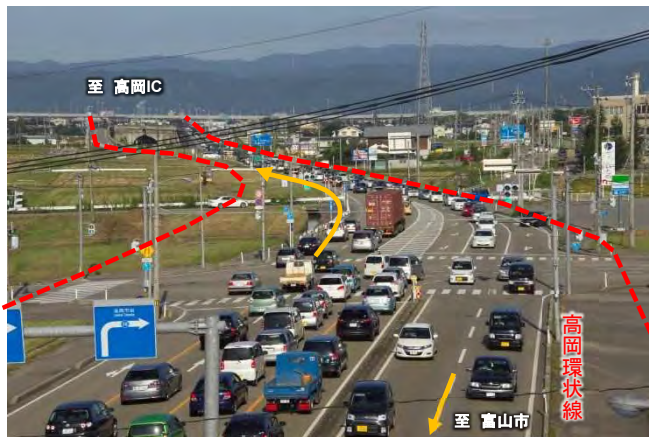
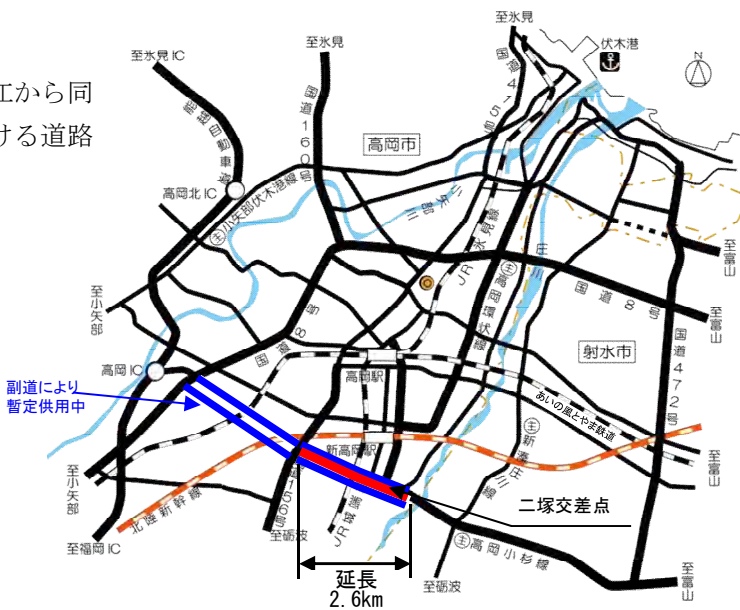
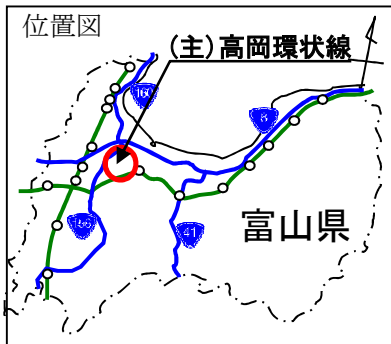
たかおか

## 整備効果

- たかおか  
三羊亭

## 平成30年度の事業内容

たかおか かみふすまえ



## 二塚交差点の渋滞状況



# (市) 綾田北代線 八田橋架替事業の推進

H30事業費 200百万円

## 事業の概要

1級市道綾田北代線は、富山駅北側を東西方向に結ぶ主要ルートとして多くの市民に利用されるときともに、第2次緊急輸送道路に指定される重要な道路です。

八田橋は、点検の結果、ゲルバー桁のヒンジ部のひび割れやコンクリート主桁の損傷が確認されるなど老朽化が進行していることから、新たに架け替えを行い、安心・安全な通行の確保を目的とした事業です。

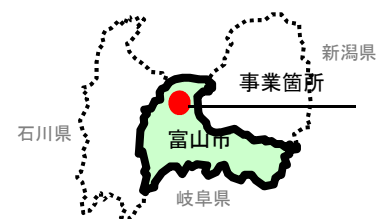
## 整備効果

- ・安心・安全な通行の確保
- ・緊急輸送道路の安全性強化

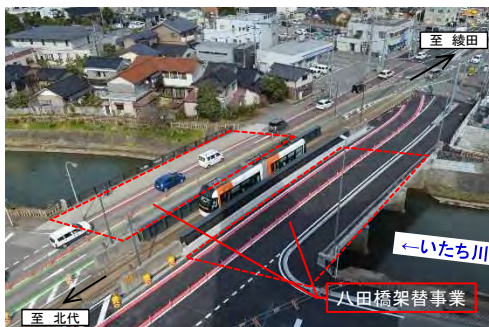
## 平成30年度の事業内容

平成30年度は、下流側の橋梁下部工を推進します。

### 位置図



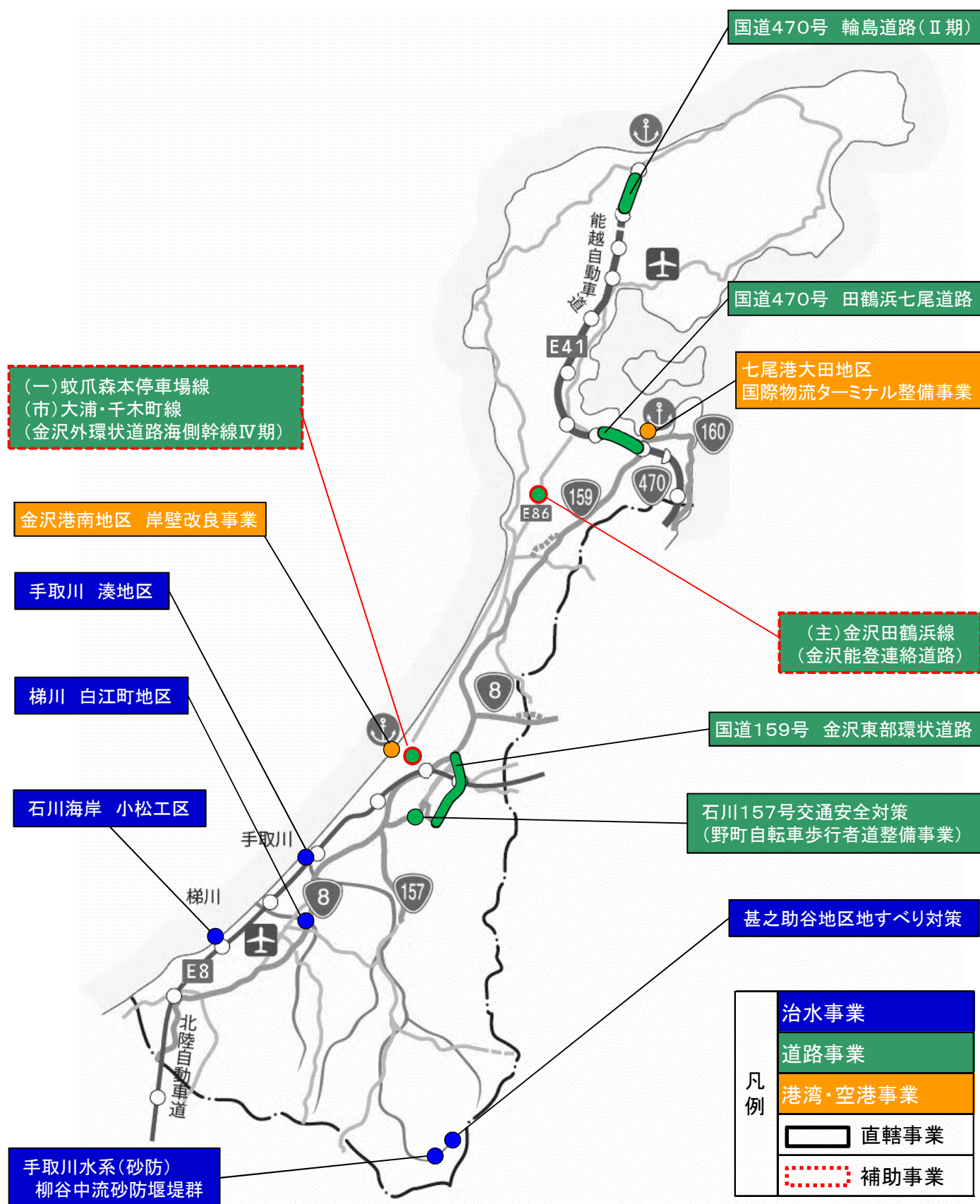
八田橋（上流側施工中）



八田橋（完成予想図）



# 石川県内の主要事業





てどりがわ  
**手取川 河道掘削の推進**  
いしかわ はくさん みなと  
**石川県白山市(湊地区)**

H30事業費  
154百万円※

※手取川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

手取川下流部は、洪水を安全に流下させるために十分な河道断面となっておらず、洪水氾濫により甚大な被害が発生する恐れがあることから、流下能力を確保するため引き続き河道掘削が必要となっています。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き河道掘削を実施します。

### 整備効果

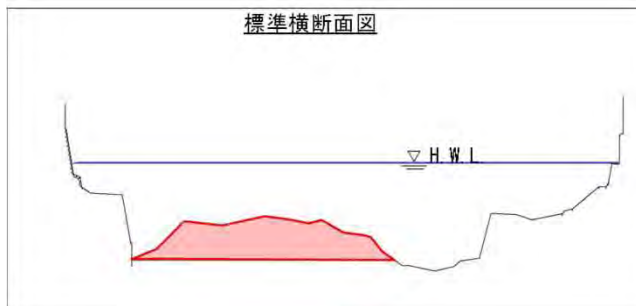
河道掘削により、<sup>てどりがわ</sup>手取川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

<sup>みなと</sup>湊地区の河道掘削を推進します。



標準横断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)

かけはしがわ

## 梯川 堤防整備の推進

いしかわ こまつ しらえまち  
石川県小松市(白江町地区)

H30事業費

1,283百万円※

※梯川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

かけはしがわ

梯川は下流より順次堤防整備を進めていますが、現在も未整備区間があり、流下能力が不足しています。近年も平成10、16年、18年、25年、29年と立て続けに洪水が発生し、避難勧告、避難指示等が発令されています。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き築堤整備等を実施します。

### 整備効果

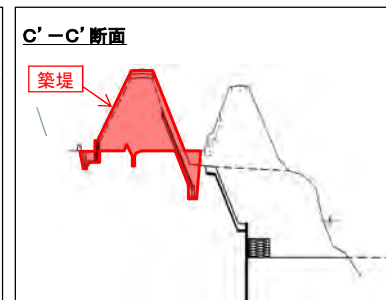
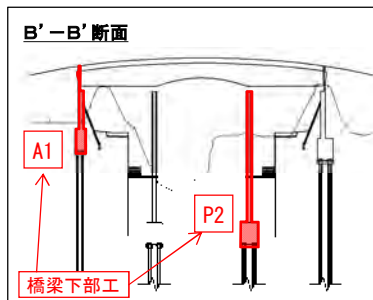
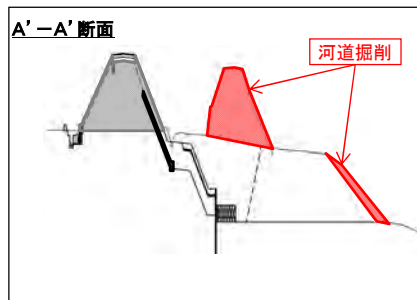
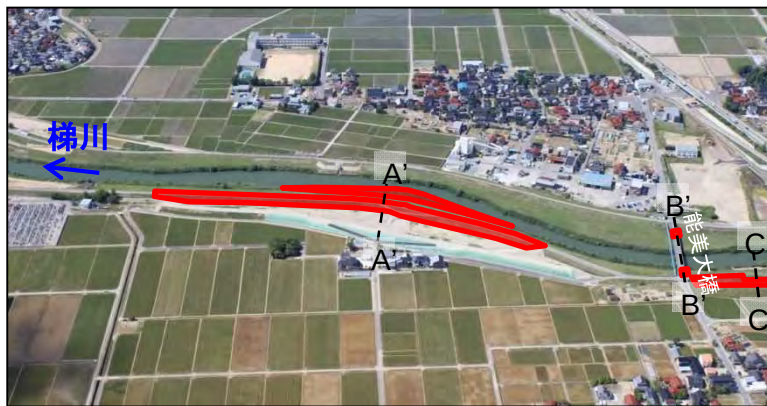
かけはしがわ

堤防整備により、梯川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

しらえまち

白江町地区の堤防整備等を推進します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)



# 甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進

石川県白山市

H30事業費 690百万円

## 事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流で大規模な地すべりで、現在も年間10cmを超える移動を観測しています。昭和9年7月11日の手取川大水害時には別当谷で地すべり性の崩壊に伴い天然ダムが形成され、その決壊により下流の白峰村(現在、白山市白峰)などに死者・行方不明者112名という未曾有の被害をもたらしています。

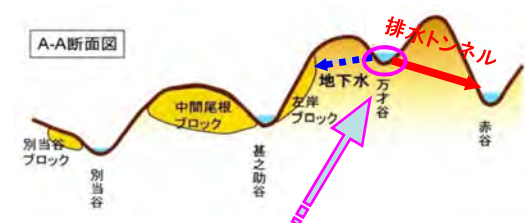
土砂災害を防止を目的として、甚之助谷地すべりの移動を抑制するために集水ボーリング、集水井、排水トンネルなどの地すべり対策を実施します。

## 整備効果

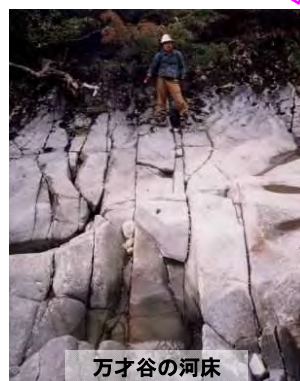
大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出を抑制し、手取川流域を土砂災害から保全するとともに、年間5万人の登山客が訪れる白山へのアクセス道の保全を図ります。

## 平成30年度の事業内容

白峰地区において、地すべりの原因となる地下水を排除するため、万才谷排水トンネルの整備を推進します。



昭和9年  
手取川大水災害  
時の白峰村風嵐  
の様子



万才谷河床にある亀裂から、流水が地下へ浸透し、左岸地すべりブロックの不安定化の要因となっています。

万才谷の河床

てどりかわ  
**手取川水系直轄砂防事業**（柳谷中流砂防堰堤群）の推進  
やなぎだにちゅうりゅうさぼうえんていぐん  
いしかわ はくさん  
**石川県白山市** H30事業費 162百万円

### 事業の概要

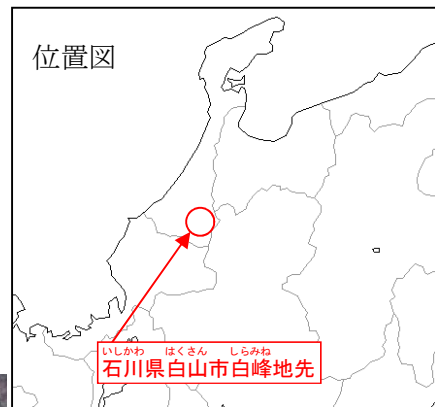
手取川水系牛首川上流の柳谷は、溪岸の崩壊・浸食が著しく、河床には過去の土石流などによる不安定土砂が堆積しており、既設砂防堰堤の一部は損傷・埋塞しています。また、直下流の別当出合は年間5万人が訪れる白山観光及び登山の拠点施設があることから、砂防堰堤群を整備し、大規模な土砂流出を抑制します。

### 整備効果

災害から守り大規模な土砂流出を抑制することにより、別当出合の白山登山・観光の拠点施設及び白峰集落など下流の保全対象を土砂ます。

### 平成30年度の事業内容

白峰地区において、砂防堰堤群の整備を推進します。



柳谷の土石流災害状況(平成11年)



柳谷第33号砂防堰堤



いしかわ

石川海岸

# 侵食・越波対策の推進（小松工区）

こまつ

いしかわ こまつ  
石川県小松市

H30事業費 650百万円※

※石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH30全体事業費

## 事業の概要

石川海岸小松工区は、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

そのため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業に着手し、抜本的な保全対策を推進しています。

## 整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

## 平成30年度の事業内容

小松工区において、人工リーフ等の整備を推進します。



冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



施設被災状況(小松市安宅地先:平成24年12月)



いし かわ  
石川 1 5 7 号交通安全対策  
(野町<sup>の まち</sup>自転車歩行者道整備事業) の推進  
いし かわ    かな ざわ  
石川県金沢市

H30事業費 339百万円

### 事業の概要

当該箇所は、金沢市の中心部に位置し、近隣には野町駅、泉小学校があり、通学路に指定されていますが、歩道幅員が狭小なため、通学児童等歩行者の安全が確保されていない状態となっています。このため、通学路緊急合同点検において要対策箇所として抽出されている他、事故危険区間にも抽出されています。

本事業は、歩道の拡幅と併せて電線共同溝の整備を行い、安全・安心な歩行空間を確保するものです。

### 整備効果

- ・歩道拡幅及び電線共同溝の整備による安全・安心な歩行空間を確保

### 平成30年度の事業内容

調査設計、用地買収、改良工事及び電線共同溝工事を実施します。



# 国道 159 号

かなざわ

## 金沢東部環状道路事業の推進

いしかわ

かなざわ  
石川県金沢市

H30事業費 1,850百万円

### 事業の概要

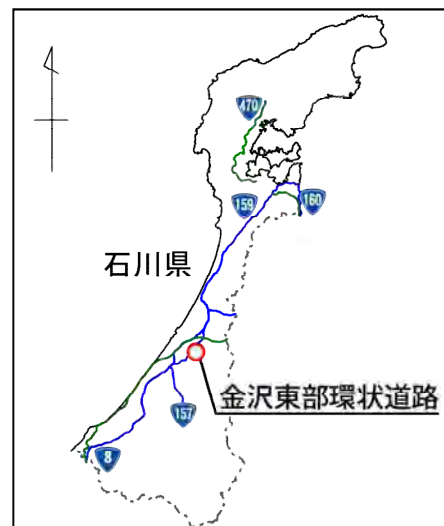
かなざわ  
金沢東部環状道路は、地域高規格道路かなざわそと  
金沢外環状道路の一部を構成し、金沢中心部における交通  
渋滞の緩和を図るとともに、北陸自動車道や、のと里山海道とあわせた広域的な道路ネットワーク  
かなざわ いままち すずみだい  
の形成を目的とした、金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約 9.4 km の道路整備事業です。

### 整備効果

- ・ 金沢中心部の交通渋滞の緩和
- ・ 広域的な道路ネットワークの形成

### 平成30年度の事業内容

改良工事、トンネル工事を推進します。





# 国道470号 輪島道路（Ⅱ期）事業の推進

石川県輪島市

H30事業費 1,990百万円

## 事業の概要

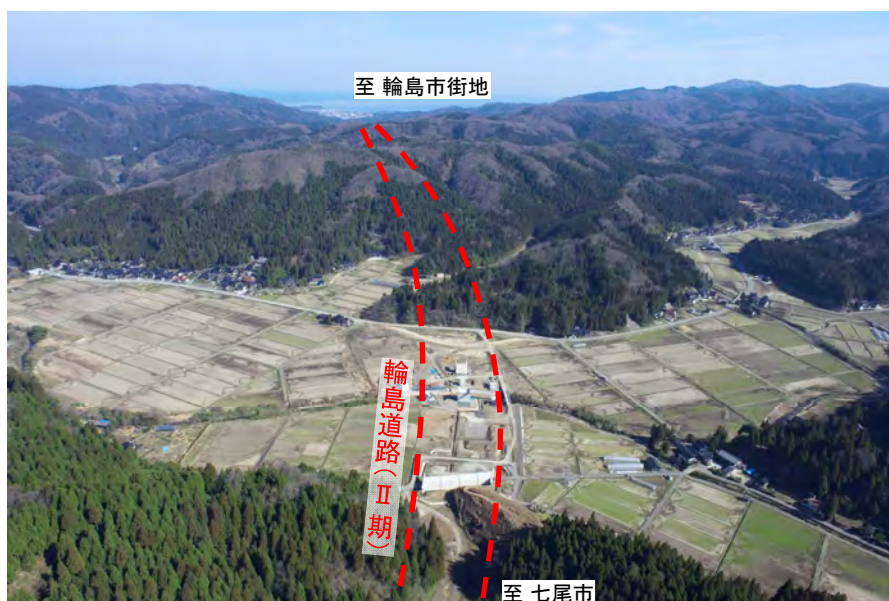
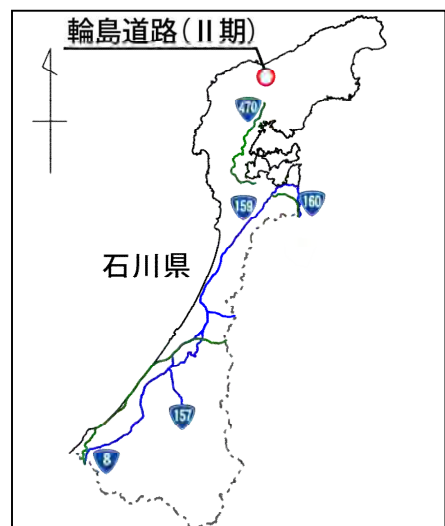
輪島道路は、高規格幹線道路能越自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送道路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市杉平町から同市三井町本江に至る延長約6.8kmの道路整備事業です。

## 整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成
- ・災害に強い道路ネットワークの形成
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化

## 平成30年度の事業内容

調査設計、用地買収、改良工事を推進します。  
また、熊野地区においてトンネル工事に着手します。



# 国道470号 田鶴浜七尾道路事業の推進

石川県七尾市

H30事業費 300百万円

## 事業の概要

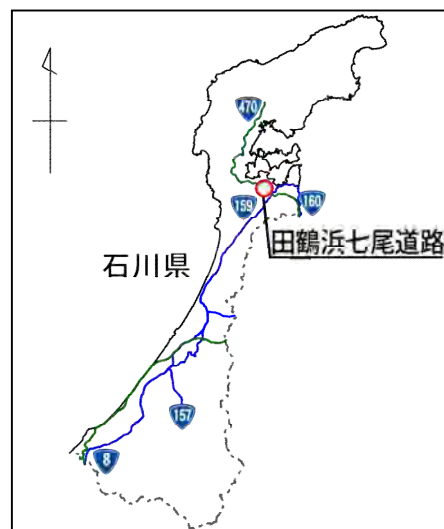
田鶴浜七尾道路は、高規格幹線道路能越自動車道の一部を構成し、能登地域への観光振興、高速ネットワーク形成による第3次救急医療機関へのアクセス性の向上を目的とした、七尾市赤浦町から同市千野町に至る延長約3.4kmの道路整備事業です。

## 整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成
- ・周遊ネットワーク形成による観光振興
- ・第3次救急医療機関へのアクセス性向上

## 平成30年度の事業内容

調査設計を推進します。また、今年度より用地買収に着手します。





かなざわ みなみ  
**金沢港 南地区**  
**岸壁改良事業の実施**  
いしかわ かなざわ  
**石川県金沢市**

H30事業費 1,600百万円

### 事業の概要

金沢港南地区の岸壁(水深7.5m)は、供用開始から40年以上が経過し、エプロンの沈下や前面鋼矢板の腐食など老朽化が顕著であることから、老朽化対策として岸壁の改良を行います。併せて耐震化を図ります。

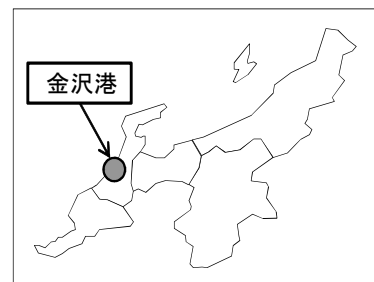
### 整備効果

施設の長寿命化・耐震性の向上が図られます。また、クルーズ船の受入環境の改善が図られます。

### 平成30年度の事業内容

岸壁の改良を推進します。

#### 【位置図】



金沢港



七尾港 大田地区  
国際物流ターミナル整備事業の推進

石川県七尾市

H30事業費 160百万円

### 事業の概要

七尾港は背後に地域の主要産業である木材加工産業が集積しており、原材料である原木の供給拠点となっています。木材運搬船の大型化への対応のため、大田地区の物流ターミナルの整備を推進します。

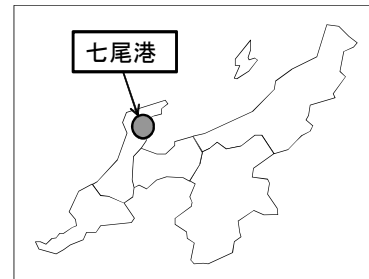
### 整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

### 平成30年度の事業内容

泊地の整備を推進します。

#### 【位置図】



【地域高規格道路 <sup>かなざわ</sup>金沢外環状道路】

(一) <sup>かがつめ もりもと てい しゃじょう</sup>蚊爪森本停車場線事業

(市) <sup>おお うら せ ぎ まち</sup>大浦・千木町線事業 の推進

<sup>いしかわ かなざわ</sup>石川県金沢市

H30事業費 2,480百万円

事業の概要

<sup>かなざわ</sup>金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって、<sup>かなざわ</sup>金沢都市圏の外郭を形成し、交通の円滑化を図る極めて重要な幹線道路です。

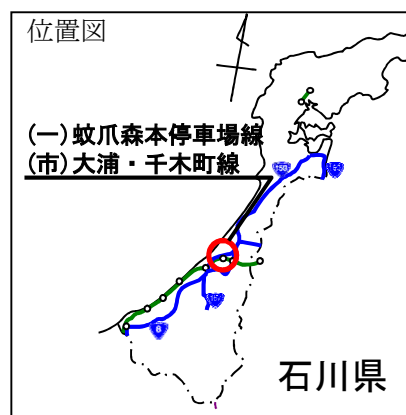
一般県道<sup>かがつめ もりもと てい しゃじょう</sup>蚊爪森本停車場線及び市道<sup>おお うら せ ぎ まち</sup>大浦・千木町線（<sup>かなざわ</sup>金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期）は、海側幹線の一部を構成し、<sup>かなざわ</sup>金沢都市圏の渋滞緩和及び物流拠点間のアクセス向上、広域交流の促進等に寄与する道路であり、<sup>かなざわ</sup>金沢市<sup>お しばた</sup>大河端町～<sup>せ ぎ</sup>千木町間2.5kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・<sup>かなざわ</sup>金沢都市圏の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減
- ・重点港湾金沢港へのアクセス向上

平成30年度の事業内容

平成30年度は、<sup>お しばた</sup>金沢市大河端町から<sup>せ ぎ</sup>千木町間の延長約2.5kmにおける道路改良工事及び橋梁工事を推進します。





[地域高規格道路 金沢能登連絡道路]

## (主) 金沢田鶴浜線事業 (柳田IC～上棚矢駄IC)

### の推進

石川県羽咋市～羽咋郡志賀町

H30事業費 360百万円

#### 事業の概要

主要地方道金沢田鶴浜線の柳田IC～上棚矢駄IC間は、地域高規格道路「金沢能登連絡道路」の一部を構成する区間であり、現道の交通混雑の緩和や広域交流の促進を目的とした、羽咋市柳田町から志賀町上棚に至る延長約9.6kmの事業です。

#### 整備効果

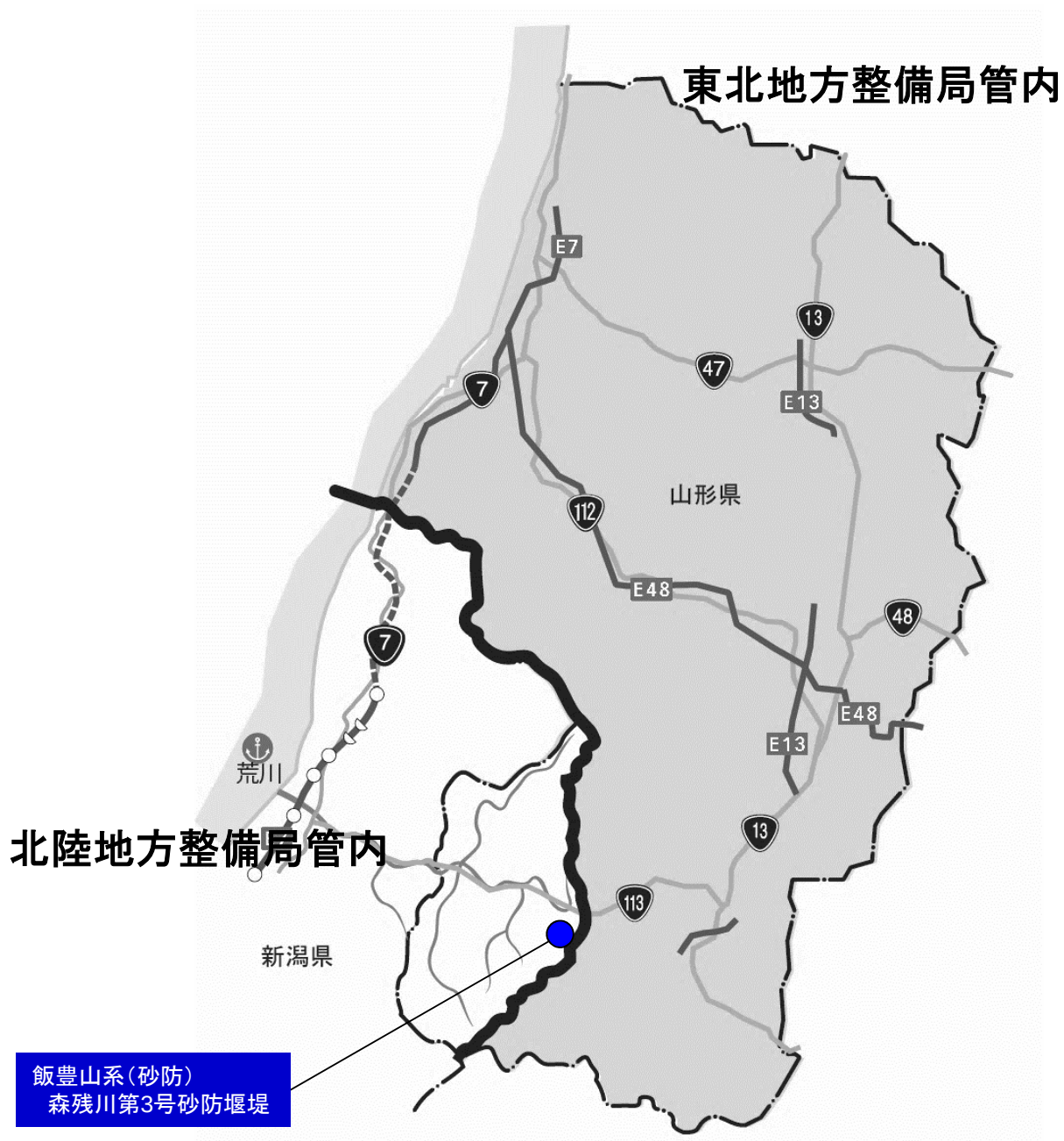
- ・交通混雑の緩和
- ・交通事故の減少
- ・広域交流の促進

#### 平成30年度の事業内容

平成30年度は、柳田ICから上棚矢駄IC間の延長約9.6kmにおける道路改良工事及び橋梁工事を推進します。



# 山形県内の主要事業



|    |      |
|----|------|
| 凡例 | 治水事業 |
|----|------|

いいでさんけい  
飯豊山系直轄砂防事業（森残川第3号砂防堰堤）の推進  
もりのこしがわ だい3ごう さほうえんてい  
やまがた にしおきたま おぐにまち  
山形県西置賜郡小国町 H30事業費 226百万円

### 事業の概要

飯豊山系（荒川流域）は地質が脆弱で多くの崩壊地が存在する土砂流出の著しい河川です。本河川の上流域及び溪床には不安定土砂や倒木が大量に存在するため、集中豪雨等によって保全対象に被害が及ぶ恐れがあるため、砂防堰堤工の整備を行います。

### 整備効果

砂防堰堤の整備を行うことで、下流への土砂流出を防ぎ、流域の土砂災害に対する安全度向上を図るとともに、直下流の小国町白子沢地区や国道113号線、JR米坂線を土砂災害から守ります。

### 平成30年度の事業内容

白子沢地区において、砂防堰堤の整備を推進します。



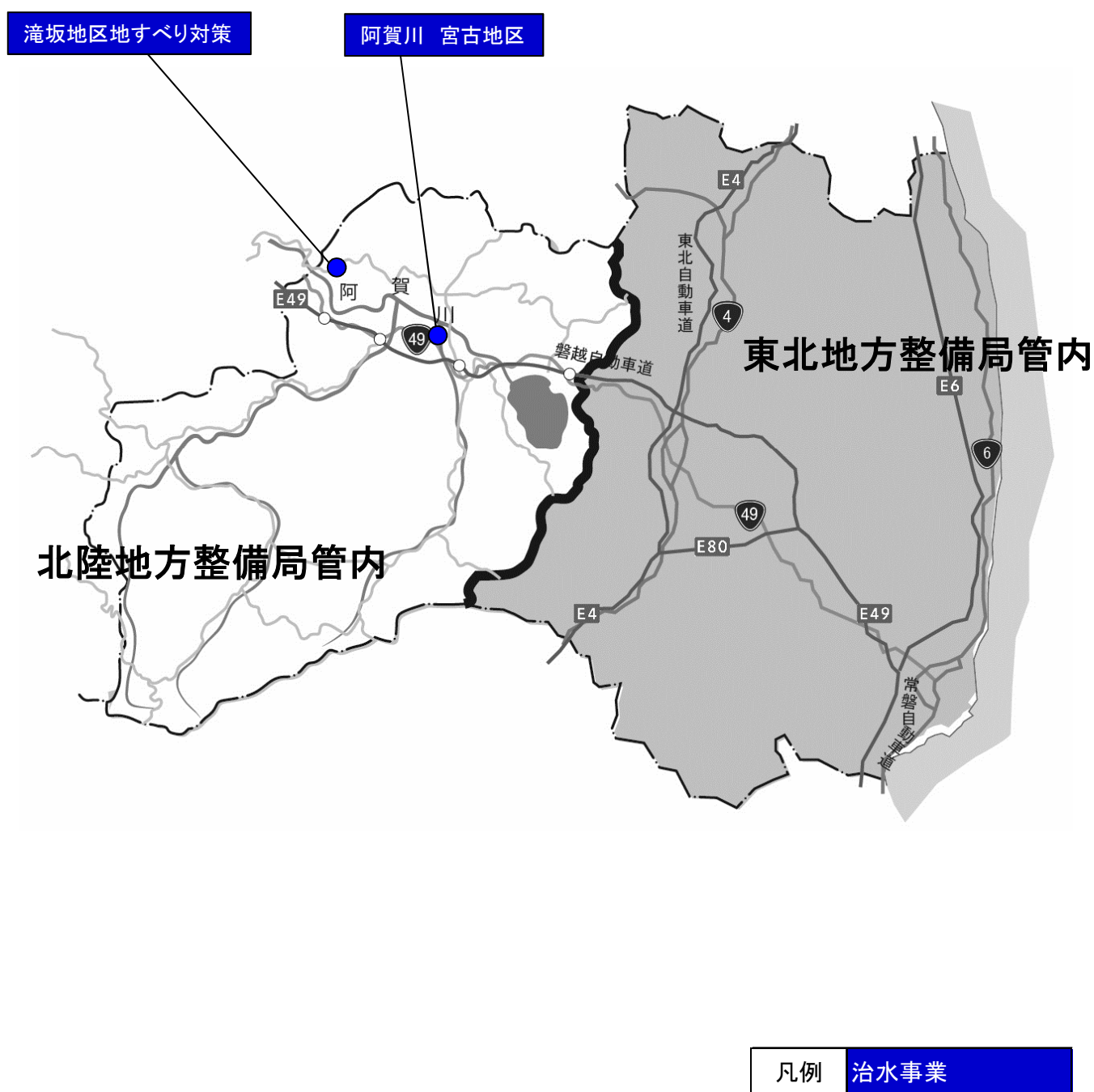
施工箇所



大規模崩壊斜面状況



# 福島県内の主要事業



あ が が わ  
**阿賀川 堤防整備の推進**  
ふくしま あいづばんげまち みやこ  
**福島県会津坂下町(宮古地区)**

H30事業費  
381百万円※

※阿賀川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

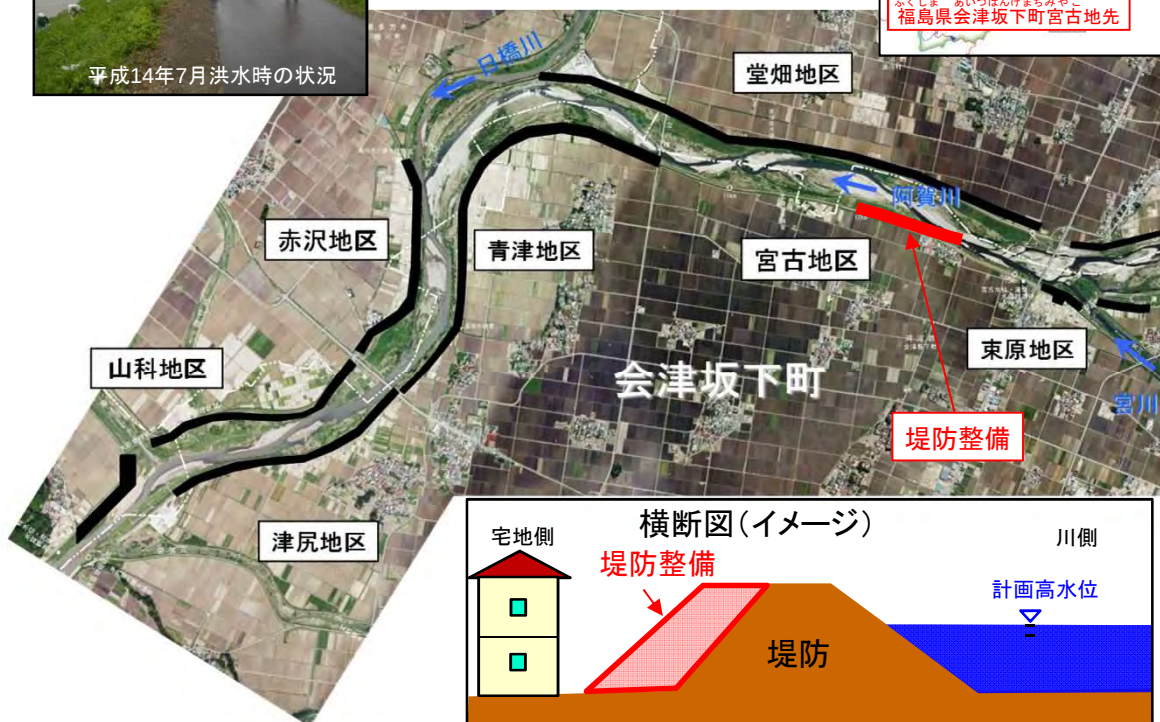
あ が が わ あいづばんげまち みやこ  
阿賀川左岸の会津坂下町宮古地区では堤防の断面が不足しており、洪水により堤防が決壊した場合、氾濫による影響が会津坂下町を含む一帯に及ぶなど、甚大な被害が発生する危険性があります。  
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き堤防整備を実施します。

### 整備効果

あ が が わ  
堤防整備により、阿賀川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

みやこ  
宮古地区の堤防整備を推進します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取組を行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)

# 滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

ふくしま やま にしあいづまち  
福島県耶麻郡西会津町

H30事業費 749百万円

## 事業の概要

滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに位置し、150haの面積を有する国内最大級の地すべりです。近年の本格的な動きは、明治21年頃から顕著となり、明治38年と昭和24年には集落の人家が移転する事態が発生するほど大きな動きを見せています。

また、東北地方太平洋沖地震では、同地域において大きな揺れを観測しています。

地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により東北地方の復興に重要な役割を担う国道49号を含め、西会津町、喜多方市等が広範囲かつ甚大な被害を受ける等、下流沿川地域も含めて広範囲に被害が想定されることから、重点的に地すべり対策を実施しています。

## 整備効果

地すべり対策事業の推進により、阿賀川の河道閉塞の危険性を低下させ、西会津町、喜多方市、新潟県阿賀町等の土砂災害に対する地域の安全度の向上を図ります。

## 平成30年度の事業内容

豊洲地区において、排水トンネル工、集水井等による地すべり対策を推進します。



大石西山地区 排水トンネル

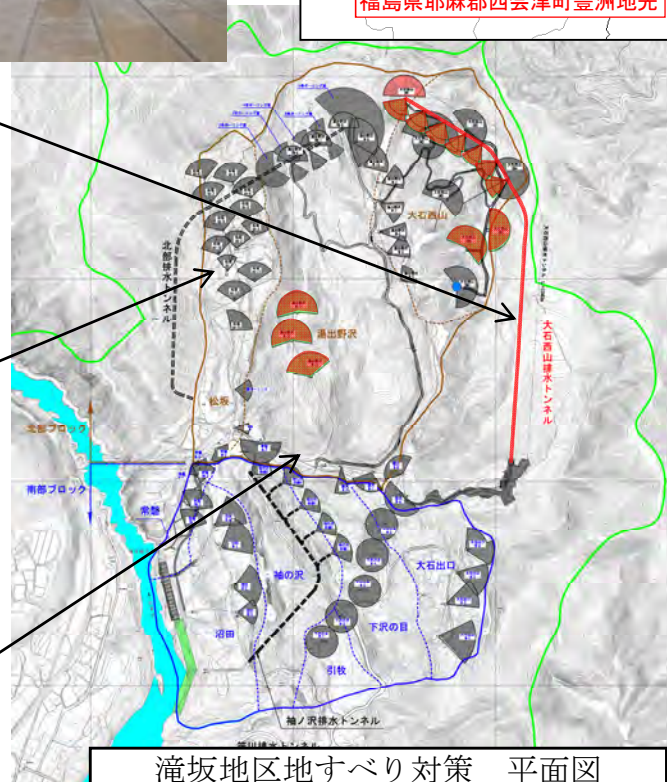
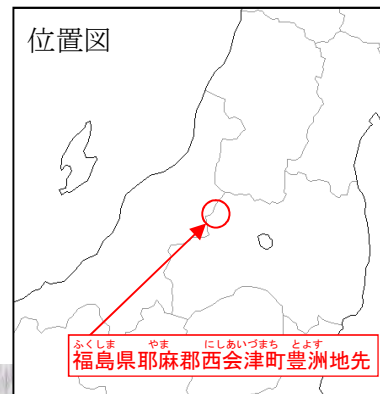


松坂地区 集水井



袖の沢地区 集水ボーリング

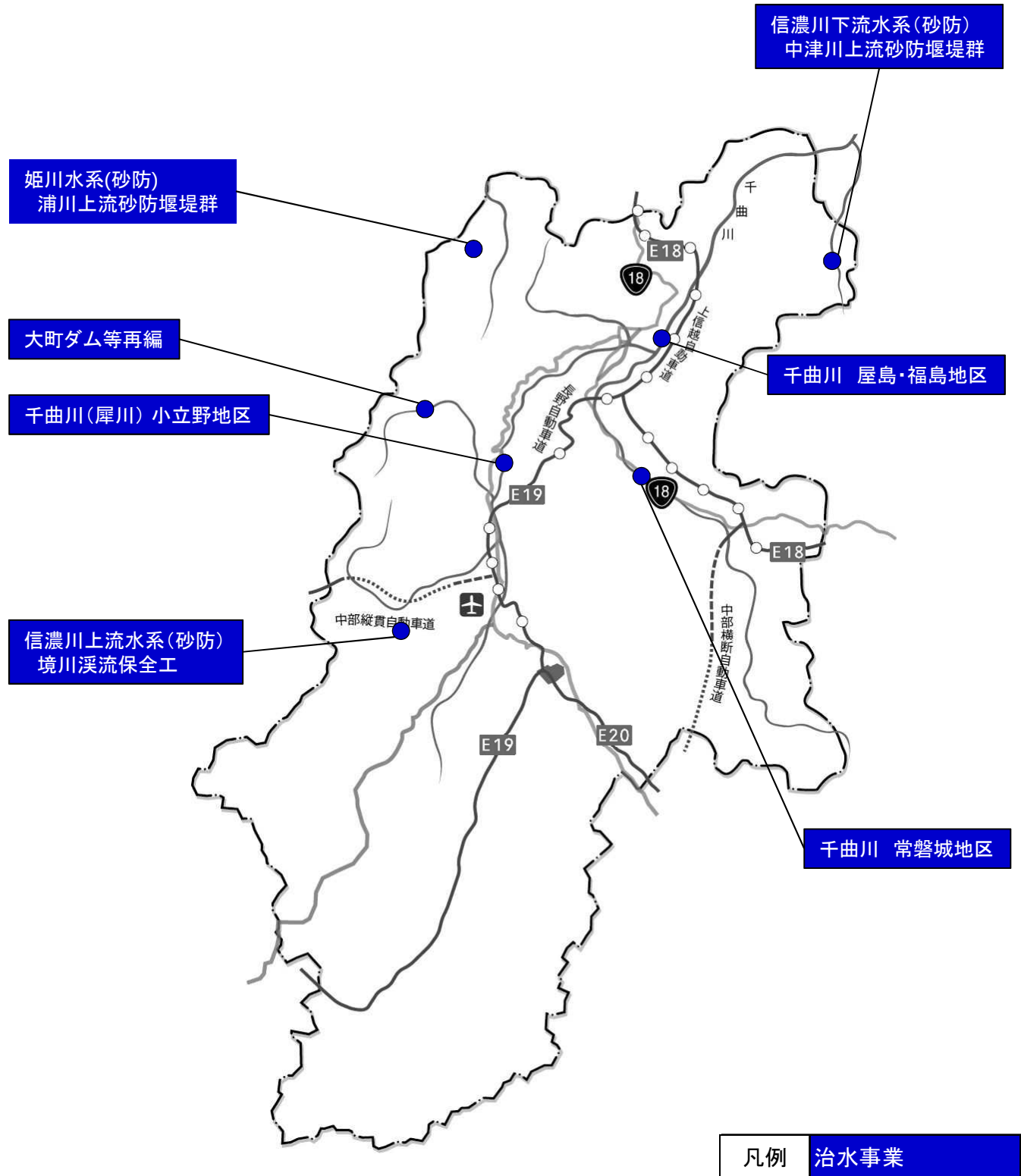
位置図



滝坂地区地すべり対策 平面図



# 長野県内の主要事業



ちくま  
**千曲川 堤防整備の推進**  
ながの ながの やしま すざか ふくじま  
**長野県長野市(屋島地区)、須坂市(福島地区)**

H30事業費  
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き堤防整備を実施します。

### 整備効果

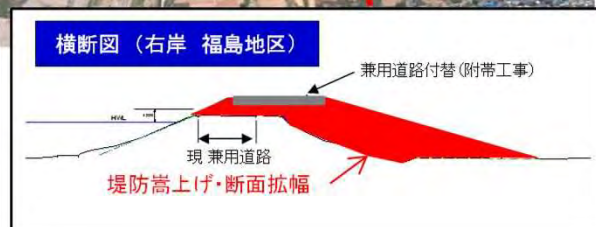
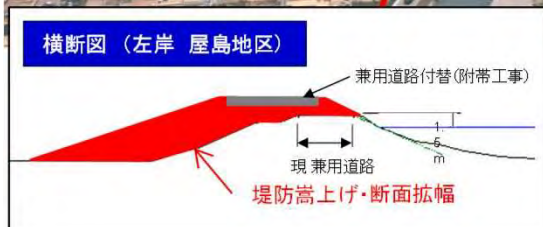
堤防整備により、千曲川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

屋島地区及び福島地区の堤防整備を推進します。



位置図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)

ちくまがわ さいがわ  
**千曲川（犀川） 堤防整備の推進**  
ながの いくさか おだつの  
**長野県生坂村（小立野地区）**

H30事業費  
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

### 事業の概要

千曲川支川犀川の生坂村小立野地区の右岸堤防は、堤防高及び断面ともに不足する暫定堤防となっており、平成18年7月出水では氾濫被害を回避するための水防活動が行われるなど、堤防整備が急務となっています。

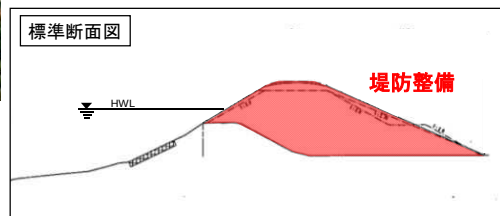
このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、引き続き堤防整備を実施します。

### 整備効果

堤防整備により、犀川の治水安全度を向上させます。

### 平成30年度の事業内容

小立野地区の堤防整備を推進します。



平成18年7月出水時の状況



平成18年7月出水時の水防活動状況



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿江市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)



ちくまがわ  
千曲川

## 自然再生事業の推進（常磐城地区）

ながの うえだ  
長野県上田市

H30事業費 162百万円※

※信濃川水系総合水系環境整備事業のH30全体事業費

### 事業の概要

千曲川では、かつて広大な礫河原を有していましたが、河床低下によって、高水敷と低水路の高低差が拡大し、礫河原及び湿性植物群落が減少しています。さらに、アレチウリ・ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が悪化・減少しています。

本事業は、河道掘削等を行うことにより、礫河原及び湿性植物群落を再生し、景観の観点からも千曲川の魅力の向上を図ります。

### 整備効果

礫河原及び湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、千曲川本来の自然環境の再生を図ります。

### 平成30年度の事業内容

ときわぎ  
常磐城地区において、礫河原の再生（河道掘削）等を推進します。

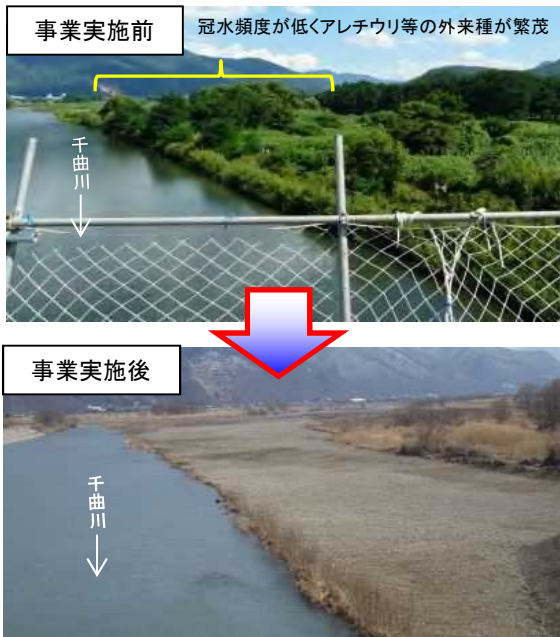
#### 位置図



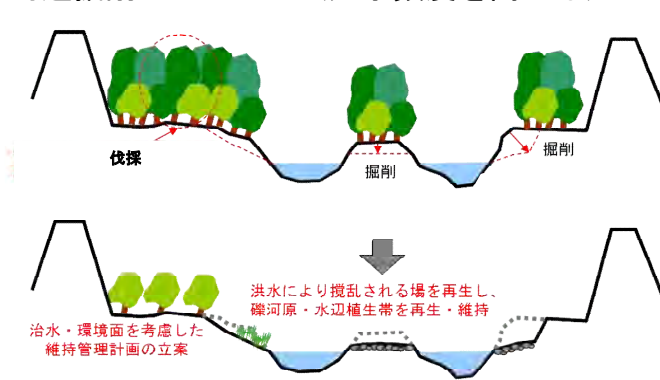
#### 平面図



### 整備済み箇所



### 河道掘削のイメージ（冠水頻度を高める）



おおまち  
**大町ダム等再編事業**  
ながの おおまち  
**長野県大町市**

H30事業費 195百万円

### 事業の概要

本事業は、平成16年、18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するもので、平成27年度から実施計画調査を進めています。

具体的には、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

○目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）

○概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保  
（既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備）

○経緯 平成27年度 実施計画調査着手

### 平成30年度の事業内容

施設検討、環境調査 等を実施します。





しなのがわじょうりゅう

# 信濃川上流直轄砂防事業（境川溪流保全工）の推進

さかいがわ けいりゅうほぜんこう

ながの まつもと  
長野県松本市

H30事業費 197百万円

## 事業の概要

奈川流域の大寄合川は、昭和58年の災害で氾濫実績があり、大寄合川上流の境川に位置する「そばの里奈川」は土砂とともに大量の流木が流下し埋没しました。境川では、川幅が狭く洪水時には流水が河道の疎通能力を超える可能性があり、溪畔林が茂りすぎると流木化が懸念されるなど防災面、環境面で課題がある。そのため、地元と協働で溪畔林の伐採を行う「里山砂防事業」の一環として、溪流保全工を施工するものです。

## 整備効果

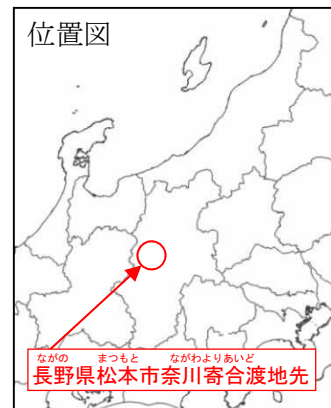
溪流保全工の整備により、下流の保全対象の安全が確保され、溪畔林の流木化による災害を防止します。

## 平成30年度の事業内容

奈川寄合渡地区において、溪流保全工の整備を推進します。



位置図



昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨により、境川などが氾濫し、寄合渡地区に土砂災害をもたらしました。



# ひめかわ 姫川水系直轄砂防事業（浦川上流砂防堰堤群）の推進

ながの きたあづみ おたり  
長野県北安曇郡小谷村 H30事業費 442百万円

## 事業の概要

ひめかわ うらかわ  
姫川支川の浦川流域には、明治44年8月の稗田山大崩壊による大量の崩壊土砂が現在も不安定な状態で堆積しています。併せて上流の唐松沢においても荒廃が著しく土砂流出が顕著なため、土砂災害発生の危険性が非常に高い状態にあります。

浦川上流砂防堰堤群は、荒廃の著しい浦川上流域に砂防堰堤群を整備します。

## 整備効果

砂防堰堤群の整備により、ひめかわ流域の土砂災害に対する安全度向上を図ります。

## 平成30年度の事業内容

北小谷地区において、砂防堰堤群の整備を推進します。



金山沢 源頭部の荒廃状況



位置図

ながの きたあづみ おたり  
長野県北安曇郡小谷村北小谷地先



浦川上流砂防堰堤群全景



浦川上流にある稗田山崩壊地



明治44年8月 稗田山大崩壊  
形成された天然ダム

しなのがわりゅう なかつがわじょうりゅうさほうえんていぐん  
**信濃川下流水系直轄砂防事業（中津川上流砂防堰堤群）の推進**  
 ながの しもみのち さかえ  
**長野県下水内郡栄村** H30事業費 331百万円

### 事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等から火山噴出物による非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂を流出しました。溪流内には崩壊地が多数存在し、河床には大量の不安定土砂が堆積しています。  
 中津川流域では、昭和56年8月の台風15号による豪雨で甚大な被害が発生していますが、整備率は未だに低い状況となっていることから、砂防堰堤群の整備を行います。

### 整備効果

砂防堰堤群の整備により、上流からの土砂流出を調節し、直下流の屋敷地区を保全するとともに、下流の津南町を守ります。

### 平成30年度の事業内容

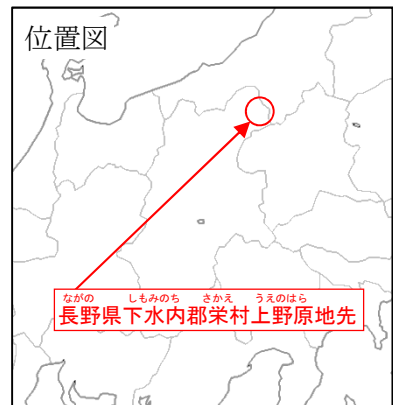
上野原地区において、砂防堰堤群の整備を推進します。



中津川上流第1号砂防堰堤計画地



苗場山西斜面の大崩壊地



平成25年9月 台風18号出水の状況  
 （中津川上流溪流保全工）

# 岐阜県内の主要事業





# 神通川水系直轄砂防事業（新穂高溪流保全工）の推進

岐阜県高山市

H30事業費 310百万円

## 事業の概要

神通川上流域は、北アルプスの厳しい気象条件に起因する高山性の崩壊地や、活火山の焼岳等に起因する火山性堆積物が広く分布しているため荒廃の著しい地域です。一方で、年間150万人が来訪する奥飛騨温泉郷等の観光地です。

新穂高地区は、当地域の観光拠点として利用されていますが、近年も上流の左俣谷等において山腹崩壊に伴う土砂流出が発生しています。

沿川の公共施設及び宿泊施設等を土砂災害から守るとともに、同地区の景観や親水性等に配慮した溪流保全工を整備します。

## 整備効果

砂防堰堤や護岸工等の溪流保全工を整備し、神通川流域における土砂災害に対する安全度を向上させます。また、観光地であることを考慮し、景観・親水性等に配慮することにより観光インフラの整備を支援し、安全で住みよい地域の創出を図ります。

## 平成30年度の事業内容

奥飛騨温泉郷神坂地区において、溪流保全工の整備を推進します。



荒廃著しく土砂流出が顕著な上流域



# 福井県内の主要事業



|    |         |
|----|---------|
| 凡例 | 港湾・空港事業 |
|----|---------|

つるが まりやまみなみ  
**敦賀港 鞠山南地区**  
**国際物流ターミナル整備事業の推進**  
ふくい つるが  
**福井県敦賀市**

H30事業費 600百万円

### 事業の概要

敦賀港は北海道苫小牧港と日本海側定期航路によって結ばれ、関西中京を背後圏とする物流拠点となっています。

鞠山北地区の非効率な荷役の解消等に対応するため、鞠山南地区の物流ターミナルの整備を実施します。

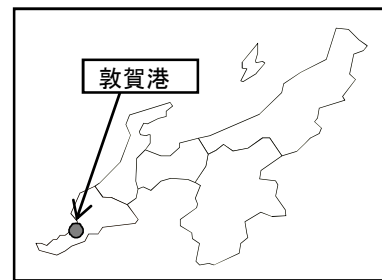
### 整備効果

貨物の取扱能力が向上し荷役効率化と輸送コストの削減が図られます。

### 平成30年度の事業内容

岸壁の整備を推進します。

#### 【位置図】





## その他の主要事業

# 河川管理施設等の老朽化対策の推進

## 北陸地方整備局管内

### 事業の概要

河川管理施設の点検を行い、施設の老朽化の進行等により機能が低下した排水機場、水門・樋管等のゲート、護岸等の更新・補修等を実施します。

### 整備効果

既存の施設について元々必要としていた機能が低下し、安全性の確保が難しい箇所について、老朽化対策により従前の機能を回復し、河川の安全性を確保します。

### 平成30年度の事業内容

洪水被害の軽減のため、老朽化等により機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施します。更に、巡視に支障となる樹木の伐採等を実施します。

#### 機能が低下した既存河川管理施設の更新・補修等を実施



ゲート扉体部の発錆



ゲート主ローラと戸当たり部の腐食

#### ①水門等の開閉装置の補修・更新



#### ②老朽化した運転操作システムの更新



ポンプのインペラの摩耗

#### ③排水機場のポンプ設備の修繕



護岸の亀裂

#### ④護岸等修繕



蛇籠護岸の流出

#### 河川管理施設の点検



堤防点検により変状を確認



河道状況の確認

#### 洪水を安全に流下させるために 堆積土砂の撤去を実施



堆積土砂撤去状況

# 既設ダムを有効活用するダム再生に係る検討

## 北陸地方整備局管内

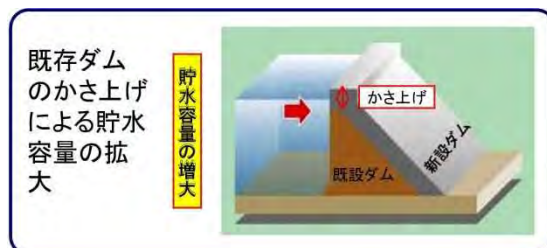
### (検討の概要)

国土交通省では、既設ダムを有効活用する「ダム再生」を加速する方策を示す「ダム再生ビジョン」を策定し、本ビジョンで示した方策を具現化し、頻発する洪水・渇水の被害軽減や、再生可能エネルギーの導入などに積極的に取り組むこととしています。

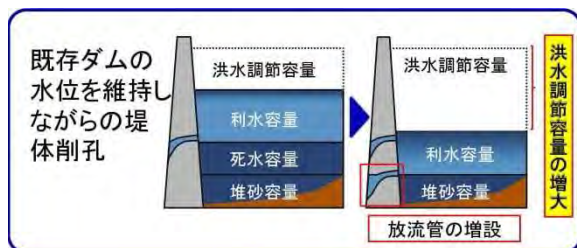
北陸地方整備局においては、管内の既設ダムの有効活用に向けて、ダム再生の実施可能性等を検討するための調査を実施します。

### ダム有効活用の事例～ハード対策の手法～ (イメージ)

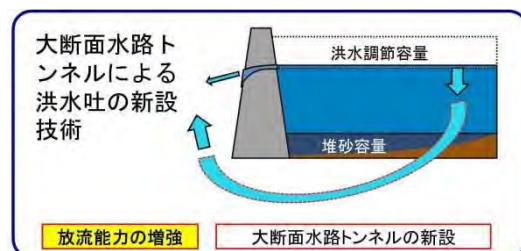
#### ■容量の拡大



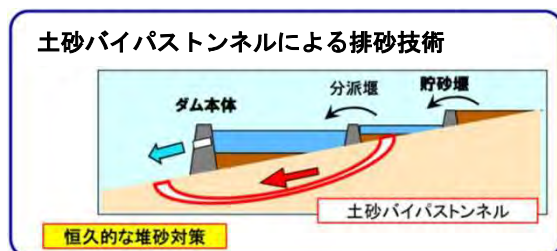
#### ■容量の確保



#### ■洪水調節能力の増強



#### ■堆砂対策の高度化





# 道路の老朽化対策、防災・震災対策の推進

## 北陸地方整備局管内

### 事業の概要

#### ・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組めます。

#### ・道路の老朽化対策

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

### 平成30年度の事業内容

#### 道路の老朽化対策

##### <橋梁>



（点検）



（鋼部材の腐食及び塗装劣化）



（修繕：塗装塗替）

##### <トンネル>



（点検）



（覆工コンクリートのひび割れ）



（修繕：断面修復）

#### 道路の防災・震災対策

##### <防災対策>



（のり面对策）

##### <耐震補強>



（橋脚補強対策）

##### <防雪対策>



（せり出し防止対策）

# トラック・バス渋滞ポイントにおける対策

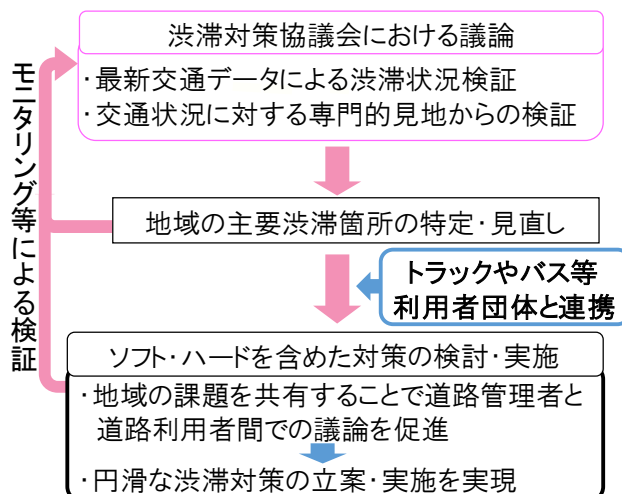
## 北陸地方整備局管内

### 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

### 【渋滞対策の流れ】



### 平成30年度の事業内容

国道8号 安楽寺（西）交差点  
（富山県 小矢部市）



＜＜右折レーンの延伸を予定＞＞

国道8号 西念交差点  
（石川県 金沢市）



＜＜右折レーンの増設を予定＞＞

国道17号 妙見堰交差点  
（新潟県 長岡市）



＜＜左折レーンの増設を予定＞＞

## 平成30年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

### 【主な調査箇所】

#### 都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

新潟県

国道116号 よし だ 吉田バイパス

#### 概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

山形県・新潟県

新潟山形南部連絡道路 おぐに 小国道路

富山県

富山外郭環状道路 なか しま ほん ごと 中島～本郷

#### 直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

新潟県

上越魚沼地域振興快速道路 十日町道路

福井・石川県境部を含む国道8号については、平成30年2月の大雪を踏まえ、冬期の交通確保や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

### ＜道路調査の流れ＞

